

®

オンラインマニュアル

このたびは、FocusTalk V4をお買い上げいただき、ありがとうございます。

このマニュアルには、製品をお使いいただく上での注意事項や、重要な情報が記載されておりますので、よくお読みください。

特に「安全上のご注意」は、ご使用前に必ずお読みください。

お読みになった後は、インストールDVD-ROM等と併せて大切に保管してください。

2015年11月 初版 発行

株式会社スカイフィッシュ

®

**目次**

このFocusTalkのマニュアルは、下記の構成からなっています。

[第1章 安全上のご注意 5](#_Toc486336331)

[第2章 ご利用になる前に 6](#_Toc486336332)

[1．はじめに 6](#_Toc486336333)

[2．パッケージ内の同梱物について 6](#_Toc486336334)

[3．ユーザー認証について 6](#_Toc486336335)

[4．本アプリケーションのサポートについて 7](#_Toc486336336)

[5．保証について 7](#_Toc486336337)

[6．お客様の個人情報の取り扱いについて（プライバシーポリシー） 7](#_Toc486336338)

[7．その他 8](#_Toc486336339)

[第3章 インストール方法について 9](#_Toc486336340)

[1．はじめに 9](#_Toc486336341)

[2．FocusTalkを使用する際に必要な動作環境について 9](#_Toc486336342)

[3．インストールの前に 9](#_Toc486336343)

[4．FocusTalkのインストール手順 10](#_Toc486336344)

[手順1．インストール選択画面の表示 10](#_Toc486336345)

[手順2．FocusTalkセットアップウィザードの開始 10](#_Toc486336346)

[手順3．使用許諾契約書の同意 10](#_Toc486336347)

[手順4．インストールの開始 11](#_Toc486336348)

[手順5．FocusTalkのインストール終了 11](#_Toc486336349)

[手順6．ユーザー認証について 11](#_Toc486336350)

[5．FocusTalkのアンインストール手順 13](#_Toc486336351)

[6．FocusTalkの起動・終了 13](#_Toc486336352)

[●FocusTalkを起動するには 13](#_Toc486336353)

[●メイン画面を表示させるには 13](#_Toc486336354)

[●FocusTalkを終了するには 14](#_Toc486336355)

[7．インストールDVD-ROMに同梱しているソフトウェアについて 15](#_Toc486336356)

[Adobe Acrobat Reader DCとは 15](#_Toc486336357)

[上記ソフトウェアのインストール手順 15](#_Toc486336358)

[第4章 Windows 10 / 8.1上で読み上げる際の設定事項 16](#_Toc486336359)

[1．はじめに 16](#_Toc486336360)

[2．ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について 16](#_Toc486336361)

[●Windows10ログオン画面の音声化の方法 16](#_Toc486336362)

[●Windows8.1ログオン画面の音声化の方法 16](#_Toc486336363)

[●「ユーザーアカウント制御」のダイアログの音声化の方法 17](#_Toc486336364)

[第5章 FocusTalkの基本設定について 17](#_Toc486336365)

[1．はじめに 17](#_Toc486336366)

[2．FocusTalkの基本設定について 17](#_Toc486336367)

[2-1．ファイルメニュー 17](#_Toc486336368)

[2-2．ツールメニュー 18](#_Toc486336369)

[2-3．ヘルプメニュー 18](#_Toc486336370)

[第6章 FocusTalk各設定タブの詳細について 21](#_Toc486336371)

[1．はじめに 21](#_Toc486336372)

[2．各設定画面共通のボタンについて 21](#_Toc486336373)

[3．メインタブ 21](#_Toc486336374)

[3-1．読み上げ履歴 21](#_Toc486336375)

[3-2．ステータス 22](#_Toc486336376)

[4．音声タブ 22](#_Toc486336377)

[4-1．音声切り替え 22](#_Toc486336378)

[4-2．標準音声 22](#_Toc486336379)

[4-3．SAPI音声 25](#_Toc486336380)

[4-4．出力デバイス設定 25](#_Toc486336381)

[5．読み上げタブ 26](#_Toc486336382)

[5-1．読み上げ詳細設定 26](#_Toc486336383)

[5-2．メニューの読み上げ 28](#_Toc486336384)

[5-3．リストビューの読み上げ 28](#_Toc486336385)

[5-4．リッチエディットの読み上げ 28](#_Toc486336386)

[6．マウスキーボードタブ 29](#_Toc486336387)

[6-1．マウスカーソル読み上げ 29](#_Toc486336388)

[6-2．キーボードの読み上げ 30](#_Toc486336389)

[6-3．クリップボードの読み上げ 30](#_Toc486336390)

[6-4．その他の読み上げ 31](#_Toc486336391)

[6-5．Ctrl + Alt代替キー設定 31](#_Toc486336392)

[6-6．フォーカス移動時の読み上げ 31](#_Toc486336393)

[6-7．起動時の設定 33](#_Toc486336394)

[7．テキスト読み上げタブ 33](#_Toc486336395)

[7-1．テキストカーソル移動時の読み設定 33](#_Toc486336396)

[8．文字変換・辞書設定タブ 35](#_Toc486336397)

[8-1．テキストカーソル移動時の読み設定 35](#_Toc486336398)

[8-2．辞書関連設定 36](#_Toc486336399)

[9．IEタブ 39](#_Toc486336400)

[10．MS Officeタブ 43](#_Toc486336401)

[10-1．Excel 43](#_Toc486336402)

[10-2．Wordの読み上げ設定 44](#_Toc486336403)

[第7章 ツールメニューの詳細について 45](#_Toc486336404)

[1．テキスト録音 45](#_Toc486336405)

[2．外部アプリケーションの起動 46](#_Toc486336406)

[第8章 ショートカットキー一覧表 47](#_Toc486336407)

[1．はじめに 47](#_Toc486336408)

[2．FocusTalk用のショートカットキーについて 48](#_Toc486336409)

[3．Word用ショートカットキーについて 50](#_Toc486336410)

[4．Excel用ショートカットキーについて 51](#_Toc486336411)

[5．Adobe Reader用ショートカットキーについて 53](#_Toc486336412)

[6．Internet Explorer用ショートカットキーについて 53](#_Toc486336413)

[6-1．IE全般で使用するショートカットキー 54](#_Toc486336414)

[6-2．代替テキストのない画像や罫線を除く全項目に移動するためのショートカットキー 54](#_Toc486336415)

[6-3．リンク項目を移動するためのショートカットキー 55](#_Toc486336416)

[6-4．コントロール項目(テキストボックス、コンボボックス、リストボックス、チェックボックス、ボタン、ラジオボタン、画像、水平線)を移動するためのショートカットキー 55](#_Toc486336417)

[6-5．フレーム間を移動するためのショートカットキー 56](#_Toc486336418)

[6-6．テーブル間を移動するためのショートカットキー 56](#_Toc486336419)

[6-7．テーブル内を移動するためのショートカットキー 56](#_Toc486336420)

[第9章　よくある質問と回答集 58](#_Toc486336421)

[1．はじめに 58](#_Toc486336422)

[2．よくある質問と回答集 58](#_Toc486336423)

[第10章　謝辞、著作権・商標について 63](#_Toc486336424)

[1．謝辞 63](#_Toc486336425)

[2．著作権・商標 63](#_Toc486336426)

第1章 安全上のご注意

ご使用の前に、「安全上のご注意」をよくお読みいただき、正しくお使いください。

ここに示した説明事項は、お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するための内容を記載していますので、必ずお守りください。

FocusTalkおよびマニュアルの作成には細心の注意を払っておりますが、万一、ソフトウェアの欠陥あるいはヘルプの誤りによってお客様が被った損害について、弊社、販売店、および関係する団体および個人は、一切の責任を負わないものとします。

**絵表示について**

本製品を安全にお使いいただくための注意事項を、絵表示しています。

その表示を無視し、誤った取り扱いをすることによって生じる内容を次のように区別しています。

内容をご理解の上、本文をお読みください。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| toriat4 | **注意** | **誤った取り扱いをしたときに、けがをしたり財産に損害を受けたりする恐れがある内容を示しています** |

絵表示の意味

|  |  |
| --- | --- |
| toriat4 | **この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です** |
|  | **この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です** |

|  |  |
| --- | --- |
| toriat4 | **注意** |
| toriat4 | パソコンの音声ボリュームは適切な設定でご使用ください。また、ヘッドホン等を利用される場合、大きな音量で長時間ご使用になられますと耳に悪い影響を及ぼす恐れがございます。 |
|  | 長時間ご使用される場合は、必ず休憩を入れてください。1時間ごとに15分の休憩を取ってください。 |
| toriat4 | アプリケーションの構造等により、すべての情報を読み上げることができない、あるいは、　正確に読み上げない場合がございます。 |
|  | 他の音声読み上げアプリケーションと同時に使用すると、不具合を生じる場合がございますので、FocusTalkを単体でご使用ください。 |

第2章 ご利用になる前に

## 1．はじめに

本マニュアルは、FocusTalkの機能や操作方法について、より詳細に紹介するものです。

FocusTalkの設定画面から参照できる他、株式会社スカイフィッシュ(以下、弊社)のWebサイトから最新の内容をダウンロードすることができます。

ダウンロードURL

<http://www.skyfish.co.jp/focustalk/download/index.html>

なお、本マニュアルを含めたFocusTalkのすべてのマニュアルは、Windowsならびに読み上げ対象となるアプリケーションの基本操作をご理解いただいているものとして記載しております。

## 2．パッケージ内の同梱物について

FocusTalkのパッケージ内に、下記の内容が同梱されていますので不足や不良がないかご確認ください。

|  |  |
| --- | --- |
| **インストールDVD-ROM** | **1枚** |
| **インストールマニュアル** | **1冊** |

同梱物に不足や不良がある場合には、FocusTalkを購入された販売店にお問い合わせください。

**サポート時間：平日10：00～12：00、14：00～16：00**

**FocusTalkサポート窓口：050-3535-0939**

**FocusTalkサポートメールアドレス：****ft-sales@skyfish.co.jp**

※サポート時間外のお問い合わせは、上記メールアドレスまでご連絡下さい。

サポート担当者が内容を確認し、回答します。

## 3．ユーザー認証について

インストール後、FocusTalkを継続してご使用になるには、ユーザー認証が必要になります。

30日以内にユーザー認証を行ないませんと、下記の機能制限が掛かりますのでご注意ください。

・設定した内容がインストール直後の状態に戻ります。

・すべての設定の変更ができなくなります。

FocusTalkの全機能を快適にお使いいただくために、早めのユーザー認証をお願いいたします。

詳しくは、本マニュアルの第3章インストール方法について「手順6.ユーザー認証について(P10)」をご覧ください。

## 4．本アプリケーションのサポートについて

本アプリケーションのサポートにつきましては、FocusTalkを購入された販売店にお問い合わせください。なお、サポート範囲は本アプリケーションの仕様ならびに操作に限らせていただき、サポート対象者は、購入された方のみとさせていただきます。

ハードウェアを含めたパソコン本体に関する事、OSならびに読み上げ対象のアプリケーションに関する事はサポートの範囲外とさせていただきますのでご了承ください。

なお、サポートのお問い合わせをされる前にFocusTalkのホームページ（<http://www.skyfish.co.jp/focustalk>）をご確認ください。FAQを多数ご紹介しています。

## 5．保証について

(1)本アプリケーションの内容がDVD-ROMに正しく記録されていなかった場合、購入日を含め30日以内にDVD-ROMを弊社にご返送いただくことにより、無償で代替品をお送りいたします。

**送料は弊社にて負担いたします。**

(2) (1)の保証期間中、お客様の過失および故意による損傷や紛失の場合は適用されません。

(3)本アプリケーションに関する弊社の保証は、以上のみに限定いたします。

## 6．お客様の個人情報の取り扱いについて（プライバシーポリシー）

弊社では、お客様から得た個人情報を使用目的の範囲内で使用させていただきます。

・アプリケーションのバージョンアップや製品情報をメールやダイレクトメールでお知らせする場合

・サポートやお問い合わせで、お客様の本人確認を行なう場合

・バージョンアップしたアプリケーション等をお客様に送付する場合

・お客様から機能の要望をいただいた際、アプリケーション機能向上等の検討を行なう場合

・アプリケーションの不正使用や不当な目的で利用する方をお断りする場合

お客様からお問い合わせいただいた情報をメールやWeb等で一般公開させていただく場合がございますが、それらの情報からお客様個人を特定できるような内容を公開することは一切ございません。

## 7．その他

FocusTalkの著作権者は株式会社スカイフィッシュです。本アプリケーションおよび関連するマニュアル類は、日本国および国際条約による著作権法によって保護されています。本アプリケーションを不正に使用またはコピーする個人および団体は、法律によって罰せられます。また、本アプリケーションの著作権者および販売者は、不正に使用またはコピーする個人または団体に対して、法的な手段に訴えることがあります。

FocusTalkで録音した音声データは、非商用でのみご利用ください。

商用利用をご検討される場合には、弊社にご相談ください。

FocusTalk本体、同梱物、ならびに各種マニュアルは改良のため予告なしに変更する場合がございます。変更を行なった場合には、弊社ホームページ上に公開いたします。

第3章 インストール方法について

## 1．はじめに

ここでは、FocusTalkのインストールやアンインストール、および起動・終了の方法について説明します。

## 2．FocusTalkを使用する際に必要な動作環境について

FocusTalkをインストールするパソコンが、下記の条件を満たしているかをご確認ください。

|  |  |
| --- | --- |
| パソコン本体 | 日本語Windows®10(64bit/32bit) / Windows® 8.1(64bit/32bit) ※Windows® Vista™/ Windows® 7/ Windows® 8は対象外となります |
| CPU、搭載メモリ | CPU：OSの動作要件に準拠します。（Intel® Core™ 2 Duo 2GHz以上または相当の処理能力を持つPC / AT互換CPUを推奨)メモリ：2GB以上（4GB以上推奨）　※1 |
| HDD | 2.5GB以上の空き容量　※1 |
| その他 | WAVE出力が可能なサウンド機能を有していること |
| DVDドライブを有していること |

※1インストールされているOSや他にインストールされているアプリケーションにより、さらに高い性能が必要になる場合がございます。それぞれのアプリケーションの必要動作環境をご確認ください。

## 3．インストールの前に

インストールを実行する前に、パソコン上で起動している他のアプリケーションを終了してください。インストールDVD-ROMをDVDドライブにセットしますと、インストールプログラムが自動的に起動します。パソコンによっては、自動起動が無効の設定になっている場合があります。その場合は、コンピューターからDVDドライブを開き、ファイルのリストビュー内に表示されている「install.exe」を実行してください。

なお、インストールを開始しますとセキュリティ関連のダイアログが表示される場合がありますので、下記の方法にて行なってください。

**【重要】**

「ポーン」という警告音と共に、ユーザーカウント制御のダイアログが開き、「キャンセル」と「許可」の　ボタンが表示される場合があります。この部分は、FocusTalkがインストールされていない状態では　読み上げることができませんので、ここでは、以下の手順で操作し、インストールを続行してください。

方法1．Tabキーを押して、「許可」のボタンにフォーカスを移動し、Enterキーを押します。

方法2．Altキーを押しながら、YもしくはAキーを押します。

## 4．FocusTalkのインストール手順

### 手順1．インストール選択画面の表示

インストールDVD-ROMをDVDドライブに入れてください。

※ユーザーアカウント制御のダイアログが開きますので、「3.インストールの前に」を参考にしてください。

パソコンの画面の中央にインストール選択画面が開き、音声でインストール手順の説明が行なわれます。この説明を最後まで聞くと自動的にFocusTalkのインストールが開始されますが、すぐにインストールを開始したい場合には、読み上げている途中でEnterキーを押してください。

FocusTalkをインストールせずに終了する場合には、Escキーを押してください。

### 手順2．FocusTalkセットアップウィザードの開始

インストールを開始しますと、FocusTalkセットアップウィザードが開きますので、そのままEnterキーを押して、使用許諾契約書の同意画面へ進んでください。

### 手順3．使用許諾契約書の同意

以下の内容にて使用許諾契約書の文面が表示されますので、同意する場合には、Altキーを押しながらAキーを押し、「同意する」のラジオボタンを選択し、Enterキーを押してください。

――使用許諾契約書の内容（抜粋）――

ソフトウェア使用許諾契約書

重要: フォーカストークソフトウェアおよび資料(以下、「本ソフトウェア」といいます)をご使用になる前に、本使用許諾契約書の条項をよくお読み下さい。

下記の条件にご同意いただけた場合、本ソフトウェアを使用することができます。

下記の条件にご同意いただけない場合、本ソフトウェアを使用するまえに、株式会社スカイフィッシュまでご連絡ください。

第1条 知的所有権

1．お客様は、本使用許諾契約の対象となるパッケージ内にある本ソフトウェアを使用することができますが、本ソフトウェアの知的所有権を所有するわけではありません。

本ソフトウェアの知的所有権は、株式会社スカイフィッシュ、または、株式会社スカイフィッシュへのソフトウェア供給者が所有しています。

第2条 使用許諾

1．お客様は、本ソフトウェアを譲渡不能かつ非独占的に利用することができます。

2．お客様は、お客様に正式に提供されている本ソフトウェアを収録したDVD-ROM1枚につき、デスクトップPC1台、ノートPC１台、合計2台のコンピューターまで本ソフトウェアを動作させることができます。3台以上のコンピューターで本ソフトウェアを動作させる必要がある場合は、本ソフトウェアを購入していただく必要があります。

また、法人分野での利用においては、DVD-ROM１枚につき１台のコンピューターで本ソフトウェアを動作させることができます。

本ソフトウェアを複数台数のコンピューターで動作させたい場合、ソフトウェアライセンスを別途購入してください。

第3条 禁止事項

1．お客様は、株式会社スカイフィッシュの同意なしに、本ソフトウェアを複製すること(DVD-ROMからハードディスクへの複製、本ソフトウェアを含むアーカイブの作成、ネットワークへの送信などを含む)はできません。バックアップ目的による複製もできません。

2．お客様は、株式会社スカイフィッシュの同意なしに、本ソフトウェアに対する改変、リバースエンジニアリング、逆アセンブル等を行なうことはできません。

3．お客様は、株式会社スカイフィッシュの同意なしに、本ソフトウェアを第三者に使用させることはできません。また、本ソフトウェアを譲渡や転売したり、貸出業務に使用したりすることもできません。

4．お客様は、フォーカストークから出力される音声、もしくは音声を保存したファイルを有償、無償を問わず商用用途で利用することができません。

第4条 仕様の変更

1．株式会社スカイフィッシュは、お客様の事前の許可あるいはお客様への事前の通告なしに、本ソフトウェアの仕様変更を行なう場合があります。

第5条 保証

1．本ソフトウェアの内容がDVD-ROMに正しく記録されていなかった場合、購入日を含め30日以内にDVD-ROMを株式会社スカイフィッシュにご返送いただくことにより、無償で代替品をお送りいたします。

2．第1項の保証期間中、お客様の過失および故意による損傷や紛失の場合は適用されません。

3．第1項の期間が経過した後にDVD-ROMが損傷および紛失した場合、DVD-ROMを株式会社スカイフィッシュにご返送いただくことにより、その時点で別途株式会社スカイフィッシュの定める金額にて代替品を販売できます。

4．本ソフトウェアに関する株式会社スカイフィッシュの保証は、以上のみに限定します。

第6条 免責

1．株式会社スカイフィッシュは、本ソフトウェアの機能がお客様の要求を満たすこと、および誤りのないことを保証するものではありません。

2．株式会社スカイフィッシュは、本ソフトウェアを使用したことによる直接的、間接的損害について、賠償責任を一切負わないものとします。

### 手順4．インストールの開始

インストールが開始されます。そのまましばらくお待ちください。インストール完了すると、FocusTalkが音声でお知らせします。

### 手順5．FocusTalkのインストール終了

セットアップウィザードの完了画面が表示されましたら、Enterキーを押してください。FocusTalkのセットアップウィザードが閉じた後に、FocusTalkが自動的に起動します。

次にユーザー認証の画面が表示されます。

### 手順6．ユーザー認証について

インストール後、FocusTalkを継続してご使用になるには、ユーザー認証が必要になります。30日以内にユーザー認証を行なわないと、機能制限として、設定した内容がインストール直後の状態に戻り、さらに、すべての設定の変更ができなくなります。FocusTalkの全機能を快適にお使いいただくために、早めのユーザー認証をお願いいたします。なお、ユーザー認証を行なう場合には、お客様の名前、住所、電話番号、メールアドレス（オンライン認証の場合）が必要になります。

FocusTalkのインストールが終了しますと、ユーザー認証の画面が表示されますので以下の方法でユーザー認証（オンライン認証）を行なってください。

なお、インターネットがご利用になれない場合などは、後述の「**インターネットがご利用になれない環境でユーザー認証を行なう場合**」の方法でユーザー認証を行なってください。

**手順1．**ユーザー認証の画面から、「インターネット経由で認証する」のボタンを選択してください。

**手順2．**名前、住所、電話番号、E-Mail、E-Mail (確認用)、購入先のテキストボックスに情報を入力してください。

※電話番号・E-Mailの内容は、半角文字で入力してください。

**手順3．**入力後、「認証する」のボタンを選択してください。ユーザー認証が終了します。

**インターネットがご利用になれない環境でユーザー認証を行なう場合**

**手順1．**ユーザー認証の画面から、「オフラインで認証する」のボタンを選択してください。

**手順2．**弊社サポート受付時間内に電話(受付専用電話番号050-3535-0939)をしていただき、FocusTalkサポート担当者に、お客様の名前、住所、電話番号をお伝えください。

**手順3．**サポート担当者が認証用コードをお客様にお伝えしますので、名前、住所、電話番号、認証コードのテキストボックスに情報を入力してください。

**手順4．**入力後、「認証する」のボタンを選択してください。ユーザー認証が終了します。

**サポート時間：平日10：00～12：00、14：00～16：00**

**FocusTalkサポート窓口：050-3535-0939**

**FocusTalkサポートメールアドレス：****ft-sales@skyfish.co.jp**

**ご注意：**

**認証用コードには有効期限（3日間）がございます。**

**有効期限が過ぎたコードでは、認証ができませんので期間内に認証を行なってください。**

**期間が過ぎてしまった場合、再度弊社サポートまでご連絡ください。**

**※「後で認証する」のボタンを選択した場合**

後でユーザー認証を行なう際には、FocusTalkの設定画面から、「ヘルプ」-「ユーザー認証」を実行してください。ユーザー認証の画面が表示されます。

## 5．FocusTalkのアンインストール手順

アンインストールは、下記の2つから開始することができます。

・「スタート」-「すべてのアプリ」-「FocusTalk」-「アンインストール」を選択

　※Windows 8.1は「アプリ一覧」-「FocusTalk」-「アンインストール」を選択

・「コントロールパネル」から、「プログラムの追加と削除(プログラムと機能)」を開いて、「FocusTalk V4」を選択

実行後、「アンインストールの確認ダイアログ」が表示されます。

アンインストールを行なう場合には、Tabキーを押し、「はい」のボタンにフォーカス移動後、Enterキーを押してください。

アンインストールを中止する場合には、Escキーを押してください。

## 6．FocusTalkの起動・終了

ここでは、FocusTalkの起動および終了の方法について下記のとおり説明します。

### ●FocusTalkを起動するには

FocusTalkの初期設定では、Windows起動時に、FocusTalkも自動的に起動するように設定されています。

FocusTalkを手動で起動する場合には、「スタート」-「すべてのアプリ」-「FocusTalk」を実行するか、下記ショートカットキーを実行してください。

※Windows 8.1は「アプリ一覧」-「FocusTalk」を選択してください。

【起動用のショートカットキー】 Ctrl + Shift + F6キー

【補足】
FocusTalkを起動しますと、タスクバーまたはタスクトレイにFocusTalkが追加されます。

※自動起動の解除方法：

FocusTalkの自動起動を解除するには、以下の設定を変更してください。

・自動起動設定ツールの設定を変更する。

「スタートメニュー」-「すべてのアプリ」-「Skyfish」-「自動起動設定ツール」を実行し、「PC起動時にFocusTalkを起動する(S)」のチェックボックスからチェックをはずす。

※Windows 8.1は「アプリ一覧」-「Skyfish」-「自動起動設定ツール」を実行してください。

### ●メイン画面を表示させるには

FocusTalkのメイン画面を表示するには、Alt + Tabキーを数回押しFocusTalkと読み上げたところでキーから手を離してください。タスクトレイに格納している場合、下記ショートカットキーで表示させることができます。

【表示用のショートカットキー】 Ctrl + Shift + F6キー（FocusTalk起動時）

### ●FocusTalkを終了するには

下記の3通りの方法があります。

方法1：Ctrl + Alt + F6キーを押してください。

方法2：Altキーを押し、「ファイル」-「終了」を選択してください。

方法3：Alt + F4キーを押してください。

以上きいずれかを実行しますと、FocusTalkの終了確認のダイアログが表示され、「はい」のボタンを選択しますと、FocusTalkが終了します。

## 7．インストールDVD-ROMに同梱しているソフトウェアについて

FocusTalkのインストールDVD-ROMには、FocusTalkの他に、Adobe Readerなどのソフトウェアが同梱されていますので、お客様の必要に応じてインストールを行なってください。

### Adobe Acrobat Reader DCとは

Adobe Acrobat Reader DCは、PDFファイルを閲覧するためのソフトウェアです。FocusTalkは、PDFファイルのテキスト部分だけでなく、しおり部分やタグ付きPDFフォームも読み上げることができます。FocusTalkの当オンラインマニュアルにも採用されています。

FocusTalkをインストールする際に表示される画面において、上記各ソフトウェアのインストールを行うことができます。FocusTalkをインストール後、合わせてインストールされることをお勧めします。

### 上記ソフトウェアのインストール手順

**手順1．インストール選択画面の表示**

インストールDVD-ROMをDVDドライブに入れてください。(もし、インストールが開始されない場合やインストール中にセキュリティ関連のダイアログが表示された場合は、この章の「3．インストールの前に」を参考にしてください)

パソコンの画面の中央にインストール選択画面が開き、音声でインストール手順の説明が行なわれます。ここで、Tabキーを何回か押しますと、「Adobe Acrobat Reader DCのインストール」のボタンがありますので、インストールしたいソフトウェアを読み上げたところで、Enterキーを押してください。

**手順2．セットアップウィザードの開始**

選択したソフトウェアのセットアップウィザードが開始されますので、音声ガイダンスに従ってインストールを行なってください。

第4章 Windows 10 / 8.1上で読み上げる際の設定事項

## 1．はじめに

ここでは、Windows 10 / 8.1上でFocusTalkによる読み上げを行う際の設定事項を説明します。

こちらの設定を行うことにより、Window 10 / 8.1の情報を、より詳しくFocusTalkが読み上げます。

**設定事項：ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログを読み上げる方法**

Windows 10 / 8.1では、WindowsおよびFocusTalk側であらかじめ設定を行なうと、Windowsのログオン画面および、ユーザーアカウント制御のダイアログ(管理メニューなど、管理者権限でのアプリケーションの起動が必要なときに表示されるダイアログ)を読み上げるようになります。

こちらの詳細な設定手順は、「**2．ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について**」をご確認ください。なお、設定後に必ずパソコンの再起動を行なってください。

## 2．ログオン画面、ユーザーアカウント制御ダイアログの読み上げ手順について

各画面の読み上げる手順については、下記手順になります。

### ●Windows10ログオン画面の音声化の方法

手順1．スタートメニューを開きます。

手順2．スタートメニューが開いたら、「(すべての)アプリ」-「Skyfish」-「FocusTalk」-「自動起動設定ツール」を開きます。

手順3．「ユーザーアカウント制御」のダイアログが開きますので(このダイアログの内容は読み上げません)、左矢印キーを1回押して、「はい(Y)」のボタンにフォーカスを移動して、Enterキーを押すか、もしくはAlt + Yキーを押してください。

手順4．「自動起動の設定」のダイアログが開きます。この中に、「ログオン画面でFocusTalkを起動する」のチェックボックスがありますので、スペースキー、またはAlt + Lキーを押して、チェックを入れた後、Enterキーを押してください。

### ●Windows8.1ログオン画面の音声化の方法

手順1．スタートメニューを開きます。

手順2．スタートメニューが開いたら、「↓矢印」キーを一回押して、「アプリの一覧」へォーカスを移動して、「自動起動設定ツール」を開きます。

手順3．「ユーザーアカウント制御」のダイアログが開きますので(このダイアログの内容は読み上げません)、左矢印キーを1回押して、「はい(Y)」のボタンにフォーカスを移動して、Enterキーを押すか、もしくはAlt + Yキーを押してください。

手順4．「自動起動の設定」のダイアログが開きます。この中に、「ログオン画面でFocusTalkを起動する」のチェックボックスがありますので、スペースキー、またはAlt + Lキーを押して、チェックを入れた後、Enterキーを押してください。

### ●「ユーザーアカウント制御」のダイアログの音声化の方法

手順1．Windowsキーを押しながら、Uキーを押します。

手順2．「コンピューターの簡単操作センター」の画面が表示されたら、Tabキーを数回押して、「コンピューターを画面なしで使用します」にフォーカスを移動し、Enterキーを押します。

手順3．Tabキーを数回押して、「FocusTalk」のチェックボックスにフォーカスを移動し、スペースキーを押して、チェックを有効にします。

手順4．Tabキーを押して、「適用（P）」のボタンにフォーカスを移動し、Enterキーを押します。

手順5．Tabキーを押して、「OK（O）」のボタンにフォーカスを移動し、Enterキーを押します。

手順6．パソコンを再起動します。

第5章 FocusTalkの基本設定について

## 1．はじめに

ここでは、FocusTalkの基本的な設定の効果と方法について紹介します。

## 2．FocusTalkの基本設定について

FocusTalkのメイン画面は、画面上部のメニューバーに「ファイル」、「ツール」、「ヘルプ」といった3つの項目と、その下に配置された「メイン」、「音声」、「読み上げ」、「マウスキーボード」、「テキスト読み上げ」、「文字変換・辞書設定」、「IE」、「MS Office」という8つのタブで構成されています。

各項目には、以下の詳細メニューが表示され、各操作・設定を行うことができます。

各機能の詳細については、「第6章　FocusTalk各設定タブの詳細について」を確認してください。

### 2-1．ファイルメニュー

#### ●設定の全体初期化

FocusTalkの設定を初期状態（インストール時の状態）に戻すときに使用します。

ショートカットキーのCtrl + Alt + F7キーにより、同様の操作を行うことができます。

初期化を選択すると、「設定を初期値に戻しますか？」という確認のダイアログが表示されます。

設定を初期化する場合には「はい」のボタンを、しない場合には「いいえ」のボタンを押してください。

#### ●設定の読み込み

「設定の保存」で保存した設定情報を呼び出すときに実行します。

実行後、「ファイルを開く」のダイアログが開きます。設定を読み込む場合には、保存してあるファイルを選択して開いてください。

#### ●設定の保存

お客様が設定画面で設定した情報を保存するときに実行します。

実行後、「名前を付けて保存」のダイアログが開きますので、設定を保存する場合には、保存先のフォルダを選択して保存してください。

ファイル名の例：FocusTalk\_20130123\_123456.bak

ファイル名は左から、「FocusTalk」、年月日・時間の順で書き出されます。必要に応じて変更してください。

**●終了**

FocusTalkを終了することができます。（終了のショートカットキー：Ctrl + Alt + F6キーでも可能）

### 2-2．ツールメニュー

テキスト録音機能など、ユーティリティの起動を行います。

各機能の詳細については、「第7章　ツールメニューの詳細について」を確認してください。

### 2-3．ヘルプメニュー

#### ●オンラインマニュアル（テキスト）

テキスト版オンラインマニュアルを表示します。

サブメニューが各章ごとに分かれているので、見たい章をすぐに開くことができます。

**※内容は、PDF・Word版オンラインマニュアルと同じものになります。**

#### ●オンラインマニュアル（Word）

Word形式のオンラインマニュアルを開きます。（本マニュアルです）

**※Word　2013/ 2016標準のdocx形式となります。**

#### ●FocusTalkのホームページ

FocusTalkのホームページを表示します。

FocusTalkでホームページの内容を読み上げる場合には、Internet Explorerで開く必要がありますので、デフォルトで開くブラウザをInternet Explorerに設定してください。

Windows 10ではEdgeが既定アプリとなっておりますので、IEへ変更してください。

**変更方法：**

手順1．Windowsキーを押す。

手順2．Tabキーを数回押し「設定」と読み上げたらEnterキーを押す。

手順3．Tabキーを数回押し「システム」と読み上げたらEnterキーを押す。

手順4．下矢印キーを数回押し「既定のアプリ」と読み上げたらEnterキーを押す。

手順5．Tabキーを数回押し「Webブラウザー　マイクロソフトエッジ」と読み上げたら、スペースキーを押す。

手順6．Tabキーを数回押し、「インターネットエクスプローラー」と読み上げたらEnterキーを押す。

#### ●フィードバックの送信

FocusTalkについてのご意見やご要望、不具合などを弊社宛に送信することができます。

**フィードバック送信方法**

実行後、フィードバックページが表示されます。必要事項（氏名、メールアドレス、ご意見・ご要望・不具合の内容）を入力し、「確認画面へ進む」のボタンを選択してください。確認画面が表示されますので、内容を確認し、問題がなければ「送信」ボタンを選択してください。入力内容が送信されます。

今後のより良い製品開発のため、皆様のご意見・ご要望をお寄せください。内容はどんなに些細なものでも結構です。

#### ●ユーザー認証

FocusTalkインストール直後に求められる、ユーザー認証を行う項目です。

インストール後、FocusTalkを継続して使用する場合は、ユーザー認証が必要となります。

30日以内にユーザー認証を行ってください。

ユーザー認証の方法は、「第3章　インストール方法について　4．FocusTalkのインストール手順　手順6．ユーザー認証について」をご覧ください。

※既にユーザー認証が完了している場合、グレーアウトされ、選択できない状態になります。

#### ●バージョン情報

FocusTalkのバージョン情報、認証されたユーザーの情報が表示されます。

FocusTalkに関するお問い合わせを行う際は、こちらにて詳細なバージョンをお確かめ下さい。

#### ●最新バージョンの有無を確認

現在お使いのFocusTalkのバージョンよりも新しいバージョンがあるかどうかを確認することができます。新しいバージョンのFocusTalkがある場合には、その旨をお知らせし、FocusTalkのホームページに移動します。

※この機能は、インターネットに接続されている環境でのみ使用可能です。インターネットに接続されていない環境ではバージョンチェックを行うことができませんので、弊社またはご購入先へお問い合わせください。

**サポート時間：平日10：00～12：00、14：00～16：00**

**FocusTalkサポート窓口：050-3535-0939**

**FocusTalkサポートメールアドレス：****ft-sales@skyfish.co.jp**

※サポート時間外のお問い合わせは、上記メールアドレスまでご連絡下さい。

サポート担当者が内容を確認し、回答します。

第6章 FocusTalk各設定タブの詳細について

## 1．はじめに

ここでは、FocusTalkメイン画面上の各設定タブに配置された各設定の効果と設定方法について紹介します。

## 2．各設定画面共通のボタンについて

FocusTalkのメイン画面下部には、以下の3つのボタンが配置されています。

これらのボタンは、各設定タブにて設定を変更した際、変更内容を反映させるために使用します。

**「適用」のボタン**：設定した内容が反映されます。

**「キャンセル」のボタン**：設定した内容が取り消されます。

**「初期設定に戻す」のボタン**：その設定タブの初期設定が設定されます。

## 3．メインタブ

メインタブには、FocusTalkが読み上げた内容の履歴や、FocusTalkの現在のステータス情報などが表示されます。

### 3-1．読み上げ履歴

#### ●読み上げ履歴表示項目

FocusTalkが読み上げた内容を履歴として表示します。

Tabキーで履歴が表示されているリストビューへ移動することができ、上下矢印キーで履歴をひとつずつ辿ることができます。

※読み上げ履歴は、過去100項目が表示されます。

#### ●読み上げ履歴録音ボタン

読み上げた履歴として表示されている内容を簡単にwavファイルとして録音することができます。

直前に読み上げた内容をメモ感覚で録音したいときに便利な機能です。

**録音方法：**

手順1．読み上げ履歴が表示されているリストビュー上で、上下矢印キーを使用して録音したい履歴にフォーカスを当てる。

手順2．Tabキーを一度押し、「録音」のボタンにフォーカスを移動する。

手順3．スペースキーもしくはEnterキーを押し、「録音」ボタンを押す。

手順4．「録音ファイル名の指定」のダイアログが開くので、ファイル名を入力・保存先を指定する。

手順5．Tabキーで「保存」のボタンへ移動する。

手順6．スペースキーもしくはEnterキーを押し、「保存」ボタンを押す。

手順7．「ファイル生成中」の画面が表示され、録音が行われます。

手順8．「録音完了」のダイアログが表示され、生成処理が完了します。

手順9．指定した保存先に音声ファイルが生成されます。

### 3-2．ステータス

FocusTalkの音声設定・読み上げ設定について、現在の設定内容が表示されます。

ご使用になるかたがFocusTalkの設定内容を把握することはもちろん、サポートをするかたも容易にFocusTalkの設定状況を把握することを可能にします。

項目には、以下の設定内容が表示されます。

**音声エンジン：**FocusTalkの独自音声の種類 / SAPI音声の種類が表示されます。

**音声設定：**音声の速度・音質・倍速モードの設定内容が表示されます。

**マウスカーソル読み上げ：**マウスカーソルの読み上げ設定内容が表示されます。

**キーボード読み上げ：**キーボードフォーカス位置の読み上げ設定内容が表示されます。

**漢字の読み：**漢字の読み上げ設定内容が表示されます。

**非漢字の読み：**漢字以外（半角/全角の区別・カタカナ/ひらがなの区別・英文字の大文字/小文字の区別）の読み上げ設定内容が表示されます。

**音声出力状態：**FocusTalkの音声出力状態が表示されます。

※FocusTalkの音声が停止状態の場合、次のショートカットキーでON/OFF切り替えが可能です。

ショートカットキー：Ctrl + Alt + Pauseキー

## 4．音声タブ

音声タブでは、FocusTalkが読み上げる際に発声する音声の設定を細かく設定することができます。

### 4-1．音声切り替え

**説明：**音声切り替えの項目では、以下2つの音声のどらを使用するかという設定を行うことができます。

**標準音声：**FocusTalkが独自に搭載している、日立製音声合成エンジンを使用します。

**SAPI音声：**お使いのパソコンにインストールされているSAPI音声を使用します。

初期設定：標準音声（ラジオボタン）

### 4-2．標準音声

FocusTalkが独自に搭載している日立製音声合成エンジンの設定を行う項目です。

#### ●音声設定

読み上げを行う際の速度や高さなど、細かな設定を行うことができます。

**・速度**

**説明：**読み上げる音声の速度を調整します。

1：最低から10：最高までの10段階の設定が可能です。

1：最低が最も遅く、10：最高が最も速くなります。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + 左矢印キー、Ctrl + Alt + 右矢印キー

**初期設定：**5（コンボボックス形式）

**・高さ**

**説明：**読み上げる音声の高さを調整します。

1：最低から10：最高までの10段階の設定が可能です。

1：最低が最も低く、10：最高が最も高くなります。

**初期設定：**4（コンボボックス形式）

**・音量**

**説明：**読み上げる音声の音量を調整します。

1：最低から10：最高までの10段階の設定が可能です。

1：最低の音量が最も小さく、10：最高が最も大きくなります。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + 下矢印キー、Ctrl + Alt + 上矢印キー

**初期設定：**4（コンボボックス形式）

**・感情**

**説明：**読み上げる音声に感情表現を加えます。

平静・怒り・喜び・悲しみの4種類から設定することが可能です。

**初期設定：**平静（コンボボックス形式）

#### ●声質

読み上げを行う音声を、男性や女性、子供などから選択することができます。

**・種類**

**説明：**読み上げる音声を変更する際に設定します。

**種類：**【だいすけ1（標準）】：男性（青年）の音声

【だいすけ1（最軽量）】：男性（青年）の音声

【しょうぞう2（標準）】：男性（年配）の音声

【しょうぞう2（軽量）】：男性（年配）の音声

【しょうぞう2（最軽量）】：男性（年配）の音声

【つばき1（標準）】：女性（若い）の音声

【つばき1（軽量）】：女性（若い）の音声

【つばき1（最軽量）】：女性（若い）の音声

【きょうこ2（標準）】：女性（若い）の音声

【きょうこ2（最軽量）】：女性（若い）の音声

【けんた（標準）】：男の子（子ども）の音声

【けんた（最軽量）】：男の子（子ども）の音声

【りえ1（標準）】：女性（若い）の音声

【りえ1（最軽量）】：女性（若い）の音声

**初期設定：**つばき（軽量）（コンボボックス形式）

**補足：**各音声のレスポンスと音質について

（標準）：音質を重視し、長文等の読み上げに適した音声です。

（最軽量）：操作性を重視し、レスポンスの良い音声です。

（軽量）：上記2つの種類の中間に位置する設定です。

**・音質**

**説明：**読み上げる音声の質を変更する場合に設定します。

**種類：**【リッチ】【ノーマル】【ライト】

**初期設定：**ノーマル（コンボボックス形式）

**補足：**各音質について

【リッチ】：音質を重視し、長文等の読み上げに適しています。

【ライト】：操作性を重視し、軽快な音質です。

【ノーマル】：上記2つの音質の中間に位置する設定です。

#### ●特殊効果

音声に特殊効果を加え、より聞きやすい読み上げ方にすることができます。

**・高域強調**

**説明：**通常の読み上げよりも高音域を強調して読み上げるように設定します。

ご使用中のスピーカーやヘッドホンで、読み上げ音声がこもって聞き取りにくい場合など、こちらの機能により、改善されることがあります。

**初期設定：**チェックなし

**・効果**

**説明：**現在選択中の音声を、エコーのかかったものにしたり、ロボット風にしたりすることができます。

**種類：**【なし】【エコー】【ロボット】

**初期設定：**なし（コンボボックス形式）

**・倍速モード**

**説明：**現在設定中の音声の読み上げ速度をさらに細かく設定することができます。

**種類：**【なし】【1.5倍速】【2倍速】【3倍速】【4倍速】【0.3倍速】【0.5倍速】【0.8倍速】

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + Nキー

**初期設定：**なし（コンボボックス形式）

### 4-3．SAPI音声

お使いのパソコンにインストールされているSAPI音声で読み上げを行う場合に設定を行う項目です。

**・日本語SAPI**

お使いのパソコンに日本語のSAPI音声がインストールされている場合、選択することができます。

補足：選択できる音声は、フリーの日本語音声に限ります。

**・外国語SAPI**

お使いのパソコンに外国語のSAPI音声がインストールされている場合、選択することができます。

**・速度**

**説明：**SAPI音声の読み上げ速度を調整します。

1：最低から9：最高までの9段階の設定が可能です。

1：最低が最も遅く、9：最高が最も速くなります。

**初期設定：**6（コンボボックス形式）

**・音量**

**説明：**SAPI音声の読み上げ音量を調整します。

0：最低から9：最高までの10段階の設定が可能です。

0：最低の音量が最も小さく、9：最高が最も大きくなります。

**初期設定：**6（コンボボックス形式）

### 4-4．出力デバイス設定

FocusTalkが読み上げた内容を出力するサウンドデバイスに関する設定を行う項目です。

#### ●使用するサウンドデバイス

**説明：**お使いのパソコンに複数のサウンドデバイスが接続されている場合、FocusTalkの音声をどのデバイスに出力するかを選択することができます。

**初期設定：**デフォルト（コントロールパネルで設定のサウンドデバイス）（コンボボックス形式）

**補足：**手元の小さいスピーカーでFocusTalkの音声を出力し、オーディオ用スピーカーでメディアプレーヤーなどの音声を再生するといった便利な使い方ができます。

#### ●サウンドデバイス効率化

お使いのパソコンに複数のサウンドデバイスが接続されている場合、それらを効率的に使用して音声を出力します。

## 5．読み上げタブ

読み上げタブでは、FocusTalkの読み上げ内容について標準的な項目の設定を行うことができます。

### 5-1．読み上げ詳細設定

#### ●記号読み上げ

**説明：**文章内の句読点やかっこなどを読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + ](閉じ角カッコ)キー

**初期設定：**チェックなし

#### ●連続記号省略読み

**説明：**なめらか読みの途中で、同じ記号が連続している部分[たとえば、メールの署名部分の仕切りでハイフンが連続している箇所等]を省略した形で読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + ](閉じ角カッコ)キー

**初期設定：**チェックなし

#### ●制御コード読み上げ

**説明：**クリップボード読みにてタブコードや改行コードを読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

#### ●URL記号読み

**説明：**URLアドレス内にある記号（例：スラッシュ、コロン、ピリオド等）をスペル読みします。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**記号の読み上げにチェックが入っていない状態でも機能します。

#### ●メールアドレス記号読み

**説明：**メールアドレス内にある記号（アットマーク、ピリオド、ハイフン、アンダーライン）をスペル読みします。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**記号の読み上げにチェックが入っていない状態でも機能します。

#### ●URL/メールスペル読み

**説明：**この設定を有効にすると、URLおよびメールアドレスに含まれているアルファベット文字列（英単語）をスペル読み（1文字ずつ区切って読み上げ）します。

**初期設定：**チェックなし

#### ●日付推測読み

**説明：**日付と思われる部分を推測して、日付形式で読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**「2017/4/6」のように、数字の間がスラッシュで区切られている場合、2017年4月6日と読み上げます。

#### ●時間推測読み

**説明：**時間と思われる部分を推測して、時間形式で読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**「10:10」のように、数字の間が半角コロンで区切られている場合、10時10分と読み上げます。

#### ●パスワード読み上げ

**説明：**パスワード入力時、キータイプ時の読み上げおよび文字の読み返しを行います。

**初期設定：**チェックなし

**補足：**この設定にチェックが入っていない場合、パスワード文字は「アスタリスク」と読み上げます。

本設定を有効にする場合、パスワードの内容が周囲の人に漏れる可能性があります。

充分に注意した上で設定を行ってください。

また、PC起動時のログイン画面にパスワード読み上げ設定を反映させたい場合は、FocusTalkを管理者として実行することが必要です。デスクトップのFocusTalkのアイコンのコンテキストメニューにて「管理者として実行」を選択できます

#### ●数字の読み方

**説明：**数字をどのように読ませるかの設定です。

**・自動：**適宜桁読もしくは棒読を行います。ハイフンで区切られた電話番号や郵便番号の場合、棒読みをおこないます。

**・桁読：**123（ヒャクニジュウサン）と読み上げます。

**・棒読：**123（イチニイサン）と読み上げます。

**初期設定：**自動（コンボボックス形式）

#### ●英語の読み方

**説明：**英語をどのように読ませるかの設定です。

**・推測読み：**従来の読み上げと同じ設定です。極力英語風に読み上げます。

　**・部分スペル読み：**英単語として認識された語句はそのとおりに読み上げ、それ以外はスペル読み（アルファベット読み）します。

　**・全てスペル読み：**全ての語句をスペル読み（アルファベット読み）します。

　（特定のアルファベットを単位として読み上げてしまう現象は、こちらの項目に設定することで回避できます。　例：Aをアンペア、Wをワット）

**初期設定：**推測読み（コンボボックス形式）

### 5-2．メニューの読み上げ

**●アクセラレータ読み**

**説明：**アクセラレータを読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**アクセラレータとは、メニューバーにて「新規（N）　Ctrl + N」と表示されている中の、「（N）」の部分です。

**●ホットキー読み**

**説明：**ホットキーを読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

**補足：**ホットキーとは、メニューバーにて「新規（N）　Ctrl + N」と表示されている中の、「Ctrl + N」の部分です。

**●詳細情報読み**

**説明：**メニュー項目内に詳細な文字列情報が含まれている場合、その内容を読み上げます。

例えば、Windows7のエクスプローラー上で、「整理」のボタンには、「このフォルダの内容を整理します」という説明文が付加されています。詳細情報読みでは、その情報を読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

### 5-3．リストビューの読み上げ

**●カラム項目読み**

**説明：**（マイ）コンピューターなどのリストビューと、リストビュー上部にあるカラム項目（リストビューのタイトル）を合わせて読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

### 5-4．リッチエディットの読み上げ

**●リッチエディット読み**

**説明：**ワードパッドの入力画面内で、左右矢印キーを押したときに、文字の属性（フォント情報、文字の位置など）を読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

## 6．マウスキーボードタブ

マウスキーボードタブでは、マウスやキーボードの操作によって行われる読み上げに関する設定を行うことができます。

### 6-1．マウスカーソル読み上げ

**●マウスカーソル読み**

**説明：**マウスカーソル位置の画面内容を読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + Mキー

**初期設定：**チェックなし

**●コントロール読み**

**説明：**マウスカーソル位置の画面内容を読み上げる際、項目の種類も合わせて読み上げます。

例えば、エディットボックスにマウスカーソルが当たった時には、「○○○のエディット」というように、種類を付加して読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

**●マウスカーソル限定読み**

**説明：**マウスカーソルの当たっている位置の情報のみを読み上げます。キーボードで入力した文字や、画面情報が更新された時の読み上げは行われなくなります。

**初期設定：**チェックなし

**●マウスカーソル強調表示**

**説明：**現在、マウスカーソルが当たっている位置を、指定した色の枠で囲んで表示します。

**初期設定：**チェックなし

**●枠の色**

**説明：**マウスカーソル位置を強調表示にした際、枠の色を選択することができます。

**種類：**【黄】【青】【赤】【緑】【水色】【ピンク】【灰色】の7色から選択することができます。

**初期設定：**黄（コンボボックス形式）

**●透過率**

**説明：**マウスカーソル位置を強調する際に表示する枠の透過具合を設定することができます。

0％から90％までの設定が可能で、0％が透過せず、90％が最も薄い表示となります。

**初期設定：**黄（コンボボックス形式）

※透過処理は、処理にかかる負荷が高くなる傾向があります。透過率の設定を有効（10%以上）に設定した場合、パソコンの動作が若干重く感じられる場合があります。その場合は、透過率の設定をお切りになった上で、ご使用下さい。

**●四隅を丸くする**

**説明：**マウスカーソル位置を強調表示にした際、枠の四隅の角を丸くすることができます。

**初期設定：**チェックなし

※画面拡大ソフトなどを併用される場合は、チェックをはずしてのご使用をお勧めします。

### 6-2．キーボードの読み上げ

**●押されたキー読み上げ**

**説明：**押したキーの内容を読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + Kキー

**初期設定：**チェックなし

**補足：**押したキーの種類を確認したい場合に便利な機能です。

**●カーソルキー非読み上げ**

**説明：**キーボードの読み上げが有効になっているときに、カーソルキーの内容だけ、読み上げないようにします。

**初期設定：**チェックなし

**●キーボード強調表示**

**説明：**現在、キーボードフォーカスが当たっている位置を、指定した色の枠で囲んで表示します。

**初期設定：**チェックなし

**●枠の色**

**説明：**キーボードフォーカス位置を強調表示にした際、枠の色を選択することができます。

**種類：**【黄】【青】【赤】【緑】【水色】【ピンク】【灰色】の7色から選択することができます。

**初期設定：**黄（コンボボックス形式）

**●透過率**

**説明：**キーボードフォーカス位置を強調する際に表示する枠の透過具合を設定することができます。

0％から90％までの設定が可能で、0％が透過せず、90％が最も薄い表示となります。

**初期設定：**黄（コンボボックス形式）

**●四隅を丸くする**

**説明：**キーボードフォーカス位置を強調表示にした際、枠の四隅の角を丸くすることができます。

**初期設定：**チェックなし

※画面拡大ソフトなどを併用される場合は、チェックをはずしてのご使用をお勧めします。

### 6-3．クリップボードの読み上げ

**●クリップボード読み**

**説明：**文章を範囲選択してCtrl + Cキーを押したとき、クリップボード読みを行います。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + [(角カッコ)キー

**初期設定：**チェックあり

### 6-4．その他の読み上げ

**●ツールチップ読み上げ**

**説明：**タスクアイコンからメッセージとして表示されるバルーンヒントや、エクスプローラーでファイルにフォーカスを移動して一定時間待つと表示されるツールチップを読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

### 6-5．Ctrl + Alt代替キー設定

**●代替キー**

**説明：**FocusTalkにて頻繁に使用されるCtrl + Altキーを、別のキーに割り当てることができます。

**初期設定：**コントロールキー、押す回数：3回

**補足：**コントロールキーを代替キーに割り当て、回数を3回にした場合、コントロールキーを3回押すと、Ctrl + Altキーが押された状態になります。

### 6-6．フォーカス移動時の読み上げ

　**●グループ名読み上げ**

**説明：**ボタンやチェックボックスなどのコントロール類にフォーカスが移動したとき、そのコントロールがグループボックスの中に含まれている場合には、グループボックスのテキスト情報も読み上げるようにします。

**初期設定：**チェックなし

●**コントロールの名前読み上げ**

**説明：**フォーカスが移動したとき項目の名前を読み上げます。例えば、検索のコンボボッ　　クスにフォーカスが移動したときには、「検索」のコンボボックスというように、名前を付加して読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

●**コントロールの種類読み上げ**

**説明：**フォーカスが移動したとき項目の種類も合わせて読み上げます。例えば、エディットボックスにフォーカスが移動したときには、「○○○のエディット」というように、種類を付加して読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**コントロールの値読み上げ**

**説明：**フォーカスが移動したとき項目の値も合わせて読み上げます。例えば、チェックボックスにフォーカスが移動したときには、「チェックあり」というように、値を付加して読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

●**コントロールの状態読み上げ**

**説明：**フォーカスが移動したときコントロールが無効の場合、コントロールの状態を付加して読み上げます。例えば、「○○のメニューアイテム　選択できません」と読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

●**コントロールの説明読み上げ**

**説明：** フォーカスが移動したときコントロールの説明を付加して読み上げます。例えば、「コピーのボタン　選択した項目をクリップボードにコピーします。」

**初期設定**：チェックなし

●**リスト項目説明読み上げ（UIAのみ）**

**説明：** リスト項目の説明が設定されて場合、読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**リスト項目種類読み上げ（UIAのみ）**

**説明：** リスト項目の種類が設定されて場合、読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**下位コントロールの読み上げ**

**説明：** フォーカスが移動したとき下位コントロールの読み上げを付加して読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**ショートカットキー読み上げ**

**説明：** ショートカットキーが設定されている場合は、ショートカットキーを読み上げます。例えば「初期設定に戻す（Z）」の場合、「初期設定に戻す（Z）Alt+z 」と読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**アクセラレーターキー読み上げ**

**説明：** アクセラレータキーを読み上げます。

例えばwordのタブ「ホーム」の「貼り付け」を「貼り付け　Ctrl+V」と読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

●**コントロールのヘルプ読み上げ**

**説明：** コントロールにヘルプテキストが設定されている場合、読み上げます。

例えばwordのタブ「ホーム」の「貼り付け」を「貼り付け　クリップボードの内容を文書に貼り付けます。」と読み上げます。

**初期設定：**チェックあり

### 6-7．起動時の設定

**●タスクトレイに格納**

**説明：**FocusTalkをタスクトレイに格納します。

**初期設定：**チェックなし

**補足：**チェックがない場合、タスクバーにFocusTalkが表示されます。

付くトレイに格納した場合、Ctrl + Shift + F6キーでFocusTalkの設定画面を開くことができます。

**●音声出力停止起動**

**説明：**FocusTalkを起動したとき、自動的に音声出力が停止した状態になります。

音声出力停止状態は、Shift + Alt + Pauseキーで切り換えることができます。

**初期設定：**チェックなし

**補足：**この設定が有効の場合、Shift + Alt + Pauseキーでの音声停止状態と同じ状態で起動しますので、再度Shift + Alt + Pauseキーを押すと、読み上げが行われるようになります。

## 7．テキスト読み上げタブ

テキスト読み上げタブでは、テキストカーソルを移動したときのFocusTalkの読み上げ方を設定することができます。

### 7-1．テキストカーソル移動時の読み設定

**●漢字の読み**

**説明：**カーソルを移動させたときに、漢字をどのように読み上げるかを設定することができます。

**種類：**【詳細読み】【音訓読み】【簡易読み】の3種類から選択できます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + ;（セミコロン）キー

**初期設定：**簡易読み（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細

【詳細読み】：漢字の意味を読み上げます。

【音訓読み】：漢字の音読みと訓読みを組み合わせて読み上げます。

【簡易読み】：漢字の音読みまたは訓読みで読み上げます。

**●非漢字の読み**

カーソルを移動させたときに、漢字以外の文字をどのように読ませるか設定することができます。

**・フォネティック読み**

**説明：**文字の意味を補って読み上げます。

例えば、ひらがなの「う」を読み上げる際、「うさぎ」と読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

**・詳細読み**

**説明：**文字を詳細に読み上げます。

全角カタカナの「ス」を読み上げる場合、「全角カタカナ　ス」と読み上げます。

半角小文字の「s」を読み上げる場合、「半角小文字　エス」と読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + /（スラッシュ）キー

**初期設定：**チェックなし

**・全角/半角の区別**

**・全角カタカナ/全角ひらがなの区別**

**・英文字の大文字/小文字の区別**

**説明：**カーソルを移動させて、1文字ずつの読み上げを行ったとき、文字の種類により、読上げ方を変更することができます。

**種類：**【区別なし】【男女】【高低】の3種類から選択することができます。

**初期設定：**区別なし（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細

【詳細読み】：漢字の意味を読み上げます。

【音訓読み】：漢字の音読みと訓読みを組み合わせて読み上げます。

【簡易読み】：漢字の音読みまたは訓読みで読み上げます。

**●テキストカーソルの読み上げ**

テキストカーソルを移動させたときの読み上げ方を設定することができます。

**・テキストカーソル上下移動時の動作**

**説明：**テキストカーソルを上矢印キーもしくは下矢印キーを押して移動したときの読み上げ方を設定することができます。

**種類：**【テキストカーソル位置から行末まで読む】【テキストカーソル位置の1文字だけ読む】【テキストカーソルの行を全て読む】の3種類から選択することができます。

**初期設定：**テキストカーソル位置から行末まで読む（ラジオボタン）

**・Deleteキー文字削除時の動作**

**説明：**Deleteキーを押したときに、削除した文字を読むか、削除後にカーソルのある文字を読むかの設定を行うことができます。

**種類：**【削除した文字】【削除後のテキストカーソル位置の文字】の2種類から選択することができます。

**初期設定：**削除した文字（ラジオボタン）

## 8．文字変換・辞書設定タブ

文字変換・辞書設定タブでは、入力した文字を漢字に変換する際の読み上げ方や、各種辞書に関する設定を行うことができます。

### 8-1．テキストカーソル移動時の読み設定

**●かな漢字変換時の読み設定**

漢字変換時、変換された文字の読み方の設定を行うことができます。

**・かな漢字変換時の読み**

**説明：**漢字変換時、変換された文字の読み方を設定します。

**種類：**【なめらか読み】【1文字読み】の2種類から選択することができます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + Wキー

**初期設定：**1文字読み（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細：「かんじ」と入力後、スペースキーを押して漢字に変換した場合の読み方例

【なめらか読み】：「かんじ」と読み上げます。

【1文字読み】：「かんじてすとの　かん、ろーまじの　じ」と読み上げます。

※上記読み上げは、田町読みで読み上げた場合の内容となります。

「田町読み」とは、国立特殊教育総合研究所「理解しやすい漢字詳細読み」研究グループ（代表：渡辺　哲也様）で開発された辞書です。

**・漢字の読み**

**説明：**漢字変換時、漢字をどのように読み上げさせるかを設定します。

**種類：**【詳細読み】【音訓読み】【簡易読み】の3種類から選択することができます。

**初期設定：**詳細読み（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細

【詳細読み】：漢字の意味を読み上げます。

【音訓読み】：漢字の音読みと訓読みを組み合わせて読み上げます

【簡易読み】：漢字の音読み、または訓読みで読み上げます。

**・ローマ字入力モードの読み**

**説明：**ローマ字入力で入力しているときの読み上げ方を設定します。

**種類：**【かな + キーエコー】【キーエコーのみ】の2種類から選択することができます。

**初期設定：**かな + キーエコー（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細

【かな + キーエコー】：ローマ字に変換された内容を読み上げます。

「さかな」をローマ字入力した場合、「えす、さ、けー、か、えぬ、な」と読み上げます。

【キーエコーのみ】：入力した文字のみを読み上げます。

「さかな」をローマ字入力した場合、「えす、えー、けー、えー、えぬ、えー」と読み上げます。

**●非漢字の読み**

入力した文字を漢字以外に変換する際、変換された文字の読み方の設定を行うことができます。

**・フォネティック読み**

**説明：**文字の意味を補って読み上げます。

例えば、ひらがなの「う」を読み上げる際、「うさぎ」と読み上げます。

**初期設定：**チェックなし

**・詳細読み**

**説明：**文字を詳細に読み上げます。

全角カタカナの「ス」を読み上げる場合、「全角カタカナ　ス」と読み上げます。

半角小文字の「s」を読み上げる場合、「半角小文字　エス」と読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + /（スラッシュ）キー

**初期設定：**チェックあり

**・全角/半角の区別**

**・全角カタカナ/全角ひらがなの区別**

**・英文字の大文字/小文字の区別**

**説明：**カーソルを移動させて、1文字ずつの読み上げを行ったとき、文字の種類により、読上げ方を変更することができます。

**種類：**【区別なし】【男女】【高低】の3種類から選択することができます。

**初期設定：**区別なし（ラジオボタン）

**補足：**各設定の詳細

【詳細読み】：漢字の意味を読み上げます。

【音訓読み】：漢字の音読みと訓読みを組み合わせて読み上げます。

【簡易読み】：漢字の音読みまたは訓読みで読み上げます。

### 8-2．辞書関連設定

**●なめらか読み辞書のバックアップを取る**

なめらか読み辞書を編集する際、バックアップを取るかどうかの確認画面を表示させます。

初期状態：チェックなし

**●品詞を設定する**

なめらか読み辞書を編集する際、品詞の設定ができます。

初期状態：チェックなし

**●なめらか読み辞書編集**

FocusTalkでは、日常会話に近い自然な読み上げのことをなめらか読みと表現します。1行読みやクリップボード読み上げをさせた時、なめらか読みで読み上げます。

※なめらか読みを行った際、地名や人名などを正しく読み上げない場合があります。正しく読み上げを行わせる場合、なめらか読みのユーザー辞書に登録を行うことで、正しく読み上げるようになります。ユーザー辞書に登録した内容は、FocusTalkの標準辞書よりも優先して適用されます。なめらか読みユーザー辞書に登録できる単語は、登録する文字の長さより増減しますが、最大で約25,000語の登録が可能です。

**・検索**

辞書に登録されている単語や熟語を検索します。

ボタンを押すと、

検索語句のエディットボックスに検索したい語句を入力し、「検索」のボタンを押してください。

検索結果が表示されます。

※一致する単語が見つかった場合、登録語句一覧上で、該当単語にフォーカスが移動します。

**・追加**

なめらか読みに語句を登録します。

ボタンを押すと、「語句」のテキストボックス、「読み」のテキストボックスが表示されたダイアログが表示されます。「語句」のテキストボックスには読み上げ方を変更したい単語を、「読み」のテキストボックスには読み上げさせたい読み方を入力し、「OK」ボタンを押してください。

単語が登録語句一覧に追加されます。

※「読み」のテキストボックスには、読みを全角カタカナで入力します。

**・編集**

登録されている単語や熟語の内容を編集します。

編集を行いたい場合、登録語句一覧から対象語句を選択した上で、「編集」ボタンを押してください。

**・削除**

登録されている単語や熟語を削除します。

上下矢印キーを押して、登録語句一覧から削除したい単語を選択した上で、「削除」ボタンを押してください。「削除しますか？」という確認ダイアログが表示されますので、削除する場合は、「はい」のボタンを押してください。

**・インポート（取り込み）**

書き出したユーザー辞書を一括して取り込みます。

「インポート」のボタンを押すと、「インポートファイルを開く」のダイアログが開きます。取り込みたいユーザー辞書を選択して「開く」を押すと、対象辞書データが取り込まれ、登録語句一覧に表示されます。

※インポートできるデータはテキスト形式のもので、語句、読みの順に入力し、語句と読みの間に半角スペースを挿入してください。

**・エクスポート（書き出し）**

ユーザー辞書に登録されている単語や熟語をテキストファイルに書き出します。

「エクスポート」のボタンを押すと、「エクスポートファイルを保存」のダイアログが開きます。保存先を選択して「保存」のボタンを押すと、登録語句一覧に表示されているユーザー辞書がテキスト形式で書き出されます。

**・保存して終了**

登録したユーザー辞書を保存して終了します。

※登録語句一覧に単語を追加した時点では、まだ辞書には反映されていません。

保存して終了することにより、登録が完了します。

※登録した語句の数・お使いのPCのスペックにより、保存には数秒から数分かかる場合があります。

**・保存せずに終了**

登録したユーザー辞書を保存せずに終了します。

※登録語句一覧に表示されていても、保存しないで終了すると読み上げに反映されません。

ユーザー辞書編集を終了するときは、充分にご注意ください。

**●詳細読みユーザー辞書編集**

かな漢字変換を行う際、特定の漢字の読み方を【詳細読み】【音訓読み】【簡易読み】の３種類で設定することができます。

**・追加**

詳細読みに語句を登録します。

ボタンを押すと、「単語」、「簡易読み」、「詳細読み」、「音訓読み」のテキストボックスが表示されたダイアログが表示されます。

「語句」のテキストボックスには読み上げ方を変更したい単語を、「簡易読み」には音読みまたは訓読みで読み上げさせたい読み方、「詳細読み」には読み上げさせたい漢字の意味、「音訓読み」には音読みと訓読みを組み合わせる読み方を入力し、「OK」ボタンを押してください。単語が登録語句一覧に追加されます。

※その他のボタンはなめらか読みユーザー辞書編集ボタンの内容と同じです

**●詳細読みシステム辞書切り替え**

詳細読みシステム辞書を「標準」か「田町読み」か選択することができます。

※「田町読み（詳細読み）」とは同音の漢字、例えば、「同」「銅」「堂」などを識別するために、各漢字毎に固有に漢字の意味を付加した辞書を読み上げることです。

FocusTalkには漢字の詳細読みのために「田町読み」の辞書が搭載されています。この辞書は、漢字を入力する時により多くの人が理解しやすくなるように作成されたものです。

## 9．IEタブ

IEタブでは、Internet Explorerの読み上げに関する設定を行うことができます。

**●基本設定**

**・キー操作モード**

**説明：**Internet Explorerに割り当てられているショートカットキーをFocusTalkのショートカットキー割り当てに一時的に変更します。

**補足：キー操作モードとは？**

IEの内容を読み上げるために「キー操作モード」という方式を採用しています。

これは、IEにあらかじめ割り当てられているショートカットキーと、FocusTalkがブラウザ内の情報を読み上げるために必要とするショートカットキーが衝突してしまうため(例えば、読み上げ箇所の移動に必要な矢印キーは、IEでは、画面スクロールの設定がされています)、本来のIEのキー操作とFocusTalkがブラウザ内を読み上げるキー操作を明確に分ける必要があり、「キー操作モード」を導入しました。

なお、キー操作モードの違和感を解消するため、機能によっては自動的にオン・オフを切り替えています。

キー操作モードで動作するショートカットキーにつきましては、「**第9章　ショートカットキー一覧表**」の「**Internet Explorer用ショートカットキーについて**」で詳細を説明しています。

**ショートカットキー：**Ctrl + Zキー

**初期状態：**チェックあり

**・仮想カーソルの位置も読み上げる**

**説明：**現在どの位置に仮想カーソルがあるかを確認する場合に使用します。

**補足：**例えば、ブラウザに表示されているテキストやリンク等の項目が全部で、20箇所あり、10個目のところに仮想カーソルがある場合に、「20ぶんの10」と読み上げます。

**ショートカットキー：**Ctrl + Shift + Nキー

**初期状態：**チェックなし

**補足：仮想カーソルとは？**

仮想カーソルとは、ブラウザ内のテキストやリンク項目をキーボード操作により移動した際の、現在のキーボードフォーカスが当たっている箇所をさしています。

必ずしも、現在読み上げている場所とは限りませんので、ご注意ください。

**・訪問済みリンクか、未訪問のリンクかを読み上げる**

**説明：**リンク項目に移動した際に、訪問済みか未訪問かを確認する場合に使用します。

**補足：**後述する、リンク項目の読み上げの設定で、「リンク項目のみ読む」のラジオボタンが選択されている場合は、読み上げません。設定を無効にしているときに、リンク項目が訪問済みまたは未訪問かを確認したい場合は、Ctrl + Shift + Hキーを押しますと確認できます。

**初期状態：**チェックあり

**・ページの読み上げ時、項目の種類を付加して読む**

**説明：**ページ全体の読み上げ時、リンクや画像などといった項目の種類を付加して読み上げます。

**初期状態：**チェックなし

**・ページのダウンロード完了後、全文読みをする**

**説明：**ページのダウンロードが完了したと同時に、ページ内の全てのテキストの読み上げを開始します。

**初期状態：**チェックあり

**・「ページのダウンロード中」メッセージを読み上げる**

**説明：**ページのダウンロード中であることを音声で伝えるために、一定間隔で「ページのダウンロード中」と読み上げるようにします。

**初期状態：**チェックあり

**・「非表示項目」を読み上げる**

 **説明：**非表示項目にカーソルが移動するようになります。

ただし、ページを読んでいる途中でこの項目を変更しても、有効にはなりません。

項目内容変更後にF5キーを押すか、違うページに進んだ後、有効になります。

 **初期状態：**チェックあり

**・見出しタグ情報を付加して読み上げる**

**説明：**仮想カーソルが見出し項目（HTMLの<H1>～<H6>タグの項目）に移動した際に、「見出し１」から「見出し６」というように、見出しの種類を付加して読み上げます。

**初期状態：**チェックあり

**・リストタグ情報を付加して読み上げる**

**説明：**仮想カーソルがリスト項目（HTMLの<LI>タグの項目）に移動した際に、「リスト項目、5ぶんの3」というように、リストの位置を付加して読み上げます。現在、箇条書きになっているテキストの何番目の部分を読み上げているかを把握することができます。

**初期状態：**チェックあり

**・フォントタグ情報を付加して読み上げる**

**説明：**仮想カーソルがフォント変更されているテキスト部分に移動した際に、そのフォント情報の種類を付加して読み上げます。具体的には以下のフォント情報を読み上げます。

 太字、取り消し線、強調文字、斜体、下線、上付き文字、下付き文字

**初期状態：**チェックあり

**・タグ情報＋内容の順番で読み上げる**

**説明：**見出しタグ、リストタグ、フォントタグなどの読み上げタイミング（前か後か）の切り替えを行うことができます。

**初期状態：**チェックなし

**●スキップ移動読み**

**・スキップ移動項目数**

**説明：**左右矢印キーを押して、複数項目スキップさせるときに、そのスキップ数を設定します。

1から100までの100段階設定が可能です。

**初期状態：**10

**・スキップ移動時、途中の項目を読み飛ばす**

**説明：**左右矢印キーを押して、複数項目スキップしたときに、スキップされた項目の読みを省略します。

**ショートカットキー：**Ctrl + Alt + Sキー

**初期状態：**チェックなし

**●テキスト移動読み**

**・移動する項目の文字数　下限値**

**説明：**設定した文字数以上のテキストがある箇所にジャンプします。

**補足：**リンク項目等が多いページ等で、目的とするテキスト本文に移動させたい場合に便利な機能です。

**初期状態：**100(半角100文字・全角50文字)

**●補助機能**

**・仮想カーソル位置の強調**

**説明：**現在仮想カーソルのある位置を、指定色にて背景色、または枠で囲んで表示します。

**種類：**【使用しない】【枠で囲む】【背景色を変更する】の3種類から選択できます。

【使用しない】：仮想カーソルの位置を背景色または枠で囲みません。

【枠で囲む】：仮想カーソルの位置を四角い枠で囲みます。

【背景色を変更する】：仮想カーソルの位置の背景を変更します。

**初期状態：**使用しない

**ご注意：ホームページの構造により、主にテキストが表示されている箇所で、背景色(または枠で囲んで)表示される部分が広くなったり、狭くなったりすることがあります。こちらにつきましては、FocusTalkの仕様なっており、コンテンツ（ホームページ側）での対応が必要となりますので、ご了承ください。**

**また、FocusTalkを終了した時点で、背景色の表示が残っている場合もございます。**

**こちらもFocusTalkの仕様となっておりますので併せてご了承ください。**

**・色**

**説明：**強調表示にした際の、背景色または枠の色を選択する場合に使用します。

**種類：**【黄】【青】【赤】【緑】【水色】【ピンク】【灰色】の7種類から選択できます。

**初期状態：**黄

**・読み上げた位置にマウスカーソルを移動**

**説明：**現在仮想カーソルのある位置に、マウスカーソルを追従して移動します。

**初期状態：**チェックなし

**●リンク項目の読み上げ**

**説明：**リンク項目に移動した場合、リンク項目と併せてリンクという読み上げを付加します。

**種類：【**「リンク」と読んだ後にリンク項目を読む】【リンク項目を呼んだ後に「リンク」と読む】【リンク項目のみ読む】

**補足：**リンク項目をフォーカストークとした場合で説明します。

【「リンク」と読んだ後にリンク項目を読む】： 「リンク、フォーカストーク」と読み上げます。

【リンク項目を読んだ後に「リンク」と読む】： 「フォーカストーク、リンク」と読み上げます。

【リンク項目のみ読む】： 「フォーカストーク」と読み上げます。

**初期状態：**リンク項目を読んだ後に「リンク」と読む

**・リンク項目読み設定**

**説明：**リンク項目を読み上げる際に音声をトーンダウンさせる場合に使用します。

 **初期状態：**チェックあり

## 10．MS Officeタブ

ここでは、FocusTalkメイン画面上の各設定タブに配置された各設定の効果と設定方法について紹介します。

### 10-1．Excel

**●セルの読み上げ設定**

**説明：**セルを読み上げる時の読み上げ方法の設定です。

**種類：**【内容のみ】【番地のみ】【番地+内容】【内容+番地】の4種類から選択できます。

**補足：**番地A1のセルに「川」の文字が入力されている場合で説明します。

【内容のみ】：「かわ」と読み上げます。

【番地のみ】：「えー、いち」と読み上げます。

【番地+内容】：「えー、いち、かわ」と読み上げます。

【内容+番地】：「かわ、えー、いち」と読み上げます。

**ショートカットキー：** Ctrl + Alt + Uキー

**初期状態：**番地+内容

**●書式内容を付加して読み上げる**

**説明：**現在のセル位置の書式属性を読み上げの設定です。

**初期状態：**チェックなし

**●セルにデータが無い時の読み上げ設定**

**説明：**セルにデータが無い(何も書き込まれていない空の状態)時の読み上げ設定です。

**種類：【**無し】【データ無し】【空白】【む】【ヌル】【ブランク】の6種類から選択できます。

**初期状態：**無し

**●セルの書式読み上げ項目設定**

**説明：**現在のセル位置の書式属性を読み上げる際に、どの項目を読み上げるか設定します。

**操作：**セルを読み上げたい位置へ移動し、Ctrl + Alt + Pキーを押します。

**種類：**【フォント】【配置】【罫線】【表示形式】【パターン】【保護】

**初期状態：**フォント、配置、罫線、表示形式、パターン、保護の6つにチェックあり

**●追加読み上げ項目設定**

**説明：**現在のセル内容を読み上げる時、追加で読み上げを行う項目を設定します。

**種類：【**図形・線・ボタン】【コメント】【数式の有無】【非表示】の4種類の設定ができます。

【図形・線・ボタン】…セル上に図形・線・ボタンがなどのオブジェクトが存在する場合、その種類を読み上げます。

【コメント】…オブジェクト内にコメントが入っている場合には、その内容を読み上げます。

【数式の有無】…セル内に数式がある場合（セル内のデータが数式により算出されたものである場合）、「数式あり」と読み上げます。

【非表示】…セル内に非表示内容がある場合、「非表示」と読み上げます。

**初期状態：**図形・線・ボタン、コメント、数式の有無、【非表示】の4つにチェックあり

**●行列項目読み上げ設定**

**説明：**現在のセル内容を読み上げる時、表の行および列項目のどの項目を読み上げるか設定します。

**種類：【**なし】【行のみ】【列のみ】【行列両方】の4種類の設定ができます。

**ショートカットキー：** Ctrl + Shift + Gキー

**初期状態：**【行列両方】

### 10-2．Wordの読み上げ設定

**●書式内容を付加して読み上げる**

**説明：**現在の文字の書式属性を読み上げの設定です。

**初期状態：**チェックなし

**●セルの書式読み上げ項目設定**

**説明：**現在の文字の書式属性を読み上げる際に、どの項目を読み上げるか設定します。

**種類：**【太字】【斜体】【フォント】【サイズ(1)】【下線】【文字飾り】【文字色】【揃え】【箇条書き】【段落】【背景色】【網掛け】

**初期状態：**すべてチェックなし

第7章 ツールメニューの詳細について

## 1．テキスト録音

テキスト録音機能とは、テキストを音声に変換し、ファイルに書き出す機能です。

出力可能なファイル形式は、WAVとなります。

出力する音声の声質や速度等は、「FocusTalkの設定」-「音声設定」で設定した内容が反映されます。

**録音手順**

**手順1．**テキスト録音画面のテキストボックスに、録音するテキスト文章を入力、または貼り付けます。

**手順2．**Tabキーを押し、「録音」のボタンにフォーカスを移動し、Enterキーを押します。

**手順3．**｢録音ファイル名の指定」のダイアログが開きますので、「ファイル名」のテキストボックスに保存ファイル名を入力してください。また、必要に応じて、「保存する場所」のコンボボックスに移動して保存先のフォルダ(デスクトップやマイドキュメント等)指定してください。

**手順4．**Tabキーを押して、「保存」のボタンに移動し、Enterキーを押します。

**手順5．**録音が完了すると、「録音完了」のダイアログが表示され、保存先のフォルダに指定したファイル名で出力されます。

※録音できる文字数は約10kbyte（5,000文字程度）です。

なお、出力するテキスト内容が大きい場合、「ファイル生成中」というダイアログが表示されます。もし、出力中に処理を中断したい場合には、Enterキーを押してください。

**ご注意：この機能により録音した音声ファイルは非商用の個人的利用の範囲内でご利用ください。**

**商用利用をご検討される場合には、弊社にご相談ください。**

**WAVファイルは特性上、ファイルサイズが大きくなります。**

**ファイルサイズの上限について、仕様上は、ハードディスクの空き容量が許す限り作成することが可能ですが、ファイルサイズが大きくなりますと、再生ソフトウェアによっては、再生ができない場合がありますのでご注意ください。**

※より簡単に録音作業を行いたい場合は、弊社別製品「[JukeDoX（ジュークドックス）](http://www.skyfish.co.jp/jukedox/index.html)」をご利用ください。

## 2．外部アプリケーションの起動

FocusTalkから外部アプリケーションを起動します。

・メモ帳

・ワードパッド

・Microsoft Office Word

・Microsoft Office Excel

・Microsoft Office PowerPoint

・Internet Explorer

※Microsoft Office製品は、お使いのパソコンにインストールされている場合、起動します。

第8章 ショートカットキー一覧表

## 1．はじめに

ここでは、FocusTalkを使用してアプリケーションを読み上げるときに使用可能なショートカットキーを紹介します。ここで紹介するショートカットキーは、FocusTalk独自のショートカットキーですので、各アプリケーション(例：Office、Adobe Reader、Windows Media Player等)の操作は、各アプリケーションの持つショートカットキーで行うことも可能です。読み上げる対象となる各アプリケーションの操作方法等は、それぞれのアプリケーションのマニュアル等をご参照ください。

**ご注意：ソフトウェアの構造等により、すべての情報を読み上げることができない場合がございます。**

**補足：FocusTalkで音声化対応しているアプリケーションにつきましては、FocusTalkの製品情報のホームページをご確認ください。**

**※ショートカットキーの使用方法について**

それぞれのアプリケーション上で割り当てているFocusTalkのショートカットキーにつきましては、そのアプリケーションがアクティブになっている状態で使用してください。

Windows + Tabキー、もしくはAlt + Tabキーで、起動しているアプリケーションを切り換えることができます。

## 2．FocusTalk用のショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、FocusTalk(自身)の操作用のショートカットキーです。

原則として、デスクトップにフォーカスがある場合に使用してください。他に起動しているアプリケーション上で使用すると、そのアプリケーションのショートカットキーが優先されることがあります。

※グラフィックス・オプションのホットキーを無効してからご使用ください。

**FocusTalk起動終了の操作**

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| (FocusTalkが起動していないとき)FocusTalkの起動(FocusTalkが起動しているとき)FocusTalkの設定画面表示 | Ctrl + Shift + F6キー |
| FocusTalkの終了 | Ctrl + Alt + F6キー |
| FocusTalkのすべての設定を初期値に戻す | Ctrl + Alt + F7キー |
| オンラインマニュアルの表示(FocusTalkの設定画面にフォーカスがある場合に有効) | F1キー |

**FocusTalk音声設定の操作**

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 読み上げの一時停止・解除 | Shift + Pauseキー |
| 音声出力のオン・オフ切り替え | Shift + Alt + Pauseキー |
| 読み上げの中断 | Ctrlキー またはCtrl + Pauseキー |
| 読み上げ速度を速くする | Ctrl + Alt + 右矢印キー |
| 読み上げ速度を遅くする | Ctrl + Alt + 左矢印キー |
| 音量を上げる | Ctrl + Alt + 上矢印キー |
| 音量を下げる | Ctrl + Alt + 下矢印キー |
| 直前に読み上げた内容の再読み上げ | Ctrl + Alt + Rキー |
| 直前に読み上げた文字を左に1文字ずつ読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + 左矢印キー |
| 直前に読み上げた文字を右に1文字ずつ読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + 右矢印キー |
| 直前に読み上げた文字の1文字読みで現在位置の文字を詳細読み | Ctrl + Alt + Shift + 上矢印キー |
| 倍速モードの切り替え(なし、2倍速、3倍速、4倍速、0.3倍速0.5倍速、0.8倍速) | Ctrl + Alt + Nキー |

**Windowsの操作**

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 現在フォーカスのあるウィンドウタイトルバーの読み上げ | Ctrl + Alt + Aキー |
| 現在起動しているタスク数の読み上げ | Ctrl + Alt + Bキー |
| 現在起動しているすべてのタスクウィンドウタイトルの読み上げ | Ctrl + Alt + Cキー |
| テキストボックス内カーソル右側の文字の詳細読み | Ctrl + Alt + Hキー |
| テキストボックス内カーソル右側の文字のフォネティック読み(漢字の場合は、音訓読み) | Ctrl + Alt + Gキー |
| テキストボックスの行頭からカーソル位置まで読み上げ | Ctrl + Shift + Qキー |
| テキストボックスのカーソル位置から行末まで読み上げ | Ctrl + Shift + Lキー |
| テキストボックスのカーソル行の1行読み | Ctrl + Shift + Kキー |
| テキストボックス内、簡易、音訓、詳細読み上げの切り替え（漢字） | Ctrl + Alt + ;(セミコロン)キー |
| テキストボックス内、簡易、詳細読み上げの切り替え（非漢字） | Ctrl + Alt + /（スラッシュ）キー |
| テキストボックスのテキストカーソル位置読み上げ | Ctrl + Alt + 0キー |
| クリップボード読み上げのオン・オフ切り替え | Ctrl + Alt + [(角カッコ)キー |
| 記号読み上げのオン・オフ切り替え | Ctrl + Alt + ](閉じ角カッコ)キー |
| 現在の日付と時間の読み上げ | Ctrl + Alt + Jキー |
| MS-IMEのオン・オフ状態の読み上げ | Ctrl + Alt + :(コロン)キー |
| MS-IME変換時、1文字読み/なめらか読みの切り替え | Ctrl + Alt + Wキー |
| マウスカーソルの位置を座標形式で読み上げ | Ctrl + Alt + Xキー |
| キーボード操作読み上げのオン・オフ切り替え | Ctrl + Alt + Kキー |
| フォーカスのある部品内の状態(リスト項目数、テキストボックス内の文字数)を読み上げ | Ctrl + Alt + Lキー |
| マウスカーソルのある位置の読み上げのオン・オフ切り替え | Ctrl + Alt + Mキー |
| デスクトップ上のアイコンの数を読み上げ（デスクトップがアクティブの場合「デスクトップアイコン　ゼロ」と読み上げるが、それ以外のアプリケーションがアクティブの場合、正常に読み上げる） | Ctrl + Alt + Yキー |
| フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストをすべて読み上げる | Ctrl + Alt + Qキー |
| 標準音声とSAPI音声を切り換える | Ctrl + Shift + Eキー |
| フォーカスを持っているウィンドウまたは部品の座標位置と大きさ(幅と高さ)を読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + Tキー |
| ゴミ箱の中にあるファイル数の読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + Deleteキー |
| 画面テキスト読み上げモードの切り替え（オン/オフ） | Ctrl + Alt + F9キー |
| 画面テキスト読み上げモードがオンの時、フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストやボタン等を上方向に読み上げ | Alt+ 上矢印キー |
| 画面テキスト読み上げモードがオンの時、フォーカスのあるダイアログボックス内に表示されている、スタティックテキストやボタン等を下方向に読み上げ | Alt + 下矢印キー |
| マウスの左クリックの動作 | Alt + 上下矢印キーで移動したところで、Alt +左Windowsロゴキー、Alt +Lキー |
| マウスのダブルクリックの動作 | Alt + 上下矢印キーで移動したところで、Alt + 左Windowsロゴキーを素早く2回押す |
| マウスの右クリックの動作 | Alt + 上下矢印キーで移動したところで、Alt +右Windowsロゴキー、Alt +Rキー |

※1画面テキスト読み上げモードの場合、Shift+TabキーやTabキーで移動すると画面テキスト読み上げモードのショートカットキーが無効になりますので使用しないでください。無効になった場合、再度画面テキスト読み上げモードをオンにしてください。

※２ Windows10のスタート画面にて画面テキスト読み上げモードにする場合、スタート画面を開いた後、4回Tabキーを押して「グループのヘッダ」まで移動してから、画面テキスト読み上げモードをオンにしてください。

## 3．Word用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Word操作用のショートカットキーです。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 現在のキー状態(上書き・挿入、キャプスロックのオン・オフ状態、ナムロックのオン・オフ状態)を読み上げます。 | Ctrl + Shift + Aキー |
| 文章情報(総文字数、総段落数、句点単位の文章数)の読み上げ | Ctrl + Shift + Wキー |

下記のショートカットキーは、現在カーソルのある位置を基準とした動作となります。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1行読み上げ | Ctrl + Shift + Kキー |
| 行頭からカーソル位置までの読み上げ | Ctrl + Shift + Qキー |
| カーソル位置から行末までの読み上げ | Ctrl + Shift + Lキー |
| 1つ上の行の読み上げ | Ctrl + Shift + Iキー |
| 1つ下の行の読み上げ | Ctrl + Shift + Yキー |
| 文章の改行単位(段落行)での読み上げ | Ctrl + Shift + Uキー |
| カーソル右側の文字の詳細読み | Ctrl + Alt + Hキー |
| カーソル右側の文字のフォネティック読み | Ctrl + Alt + Gキー |
| カーソル右側の文字属性(フォント情報、文字の大きさ等)の読み上げ | Ctrl + Alt + ^(べき乗)キー |
| 文章内の変更履歴情報の読み上げ範囲選択をしている場合：範囲内の変更履歴を全て読み上げ範囲選択をしていない場合：現在の位置から下方向に最も近い履歴に移動し読み上げ | Ctrl + Shift + R |
| 文章内の変更履歴情報の読み上げ範囲選択をしている場合：範囲内の変更履歴を全て読み上げ範囲選択をしていない場合：現在の位置から上方向に最も近い履歴に移動し読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + R |
| 文章内のコメント情報の読み上げ範囲選択をしている場合：範囲内のコメントを全て読み上げ範囲選択をしていない場合：現在の位置から下方向に最も近いコメントに移動し読み上げ | Ctrl + Shift + C |
| 文章内のコメント情報の読み上げ範囲選択をしている場合：範囲内のコメントを全て読み上げ範囲選択をしていない場合：現在の位置から上方向の最も近いコメントに移動し読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + C |
| カーソル位置のページ番号と位置（行・桁）の読み上げ | Ctrl + Alt + @(アットマーク)キー |

## 4．Excel用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Excel操作用のショートカットキーです。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 現在のセル位置を登録 | Ctrl + Alt + Iキー |
| Ctrl + Alt + Iキーで登録したセル位置へ移動 | Ctrl + Alt + Oキー |
| 現在開いているワークシート名読み上げ | Ctrl + Alt + Sキー |
| データの入っている最大セル番地、およびオブジェクト数の読み上げ | Ctrl + Shift + Aキー |
| オブジェクト順次読み上げ（次のオブジェクト） | Ctrl + Shift + Nキー |
| オブジェクト順次読み上げ（前のオブジェクト） | Ctrl + Shift + Bキー |
| カーソル移動時の番地やセル内容の読み上げ方、番地のみ、セル内容のみ、番地とセル内容、セル内容と番地、の切り替え | Ctrl + Alt + Uキー |

※オブジェクトの読み上げを行いたい場合は、設定画面の（「MS Office」タブ内、「Excelの読み上げ設定」->「追加読み上げ項目設定」）の「図形・線・ボタン」にチェックを入れておく必要があります。

下記のショートカットキーは、現在カーソルのあるセル位置を基準とした読み上げです。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| セル内容の読み上げ | Ctrl + Shift + Kキー、Ctrl+5（テンキー） |
| 1つ上のセル内容の読み上げ | Ctrl + Shift + Iキー、Ctrl+8（テンキー） |
| 1つ下のセル内容の読み上げ | Ctrl + Shift + Mキー、Ctrl+2（テンキー） |
| 1つ左のセル内容の読み上げ | Ctrl + Shift + Jキー、Ctrl+4（テンキー） |
| 1つ右のセル内容の読み上げ | Ctrl + Shift + Alt + Lキー、Ctrl+6（テンキー） |
| セルの書式設定読み上げ | Ctrl + Alt + Pキー |

下記のショートカットキーは、空白セルが50個以上続いた場合、最後にデータの入っているセルを終端と見なしています。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 右側のセル内容を順次読み上げ | Ctrl + Shift + Yキー |
| 下側のセル内容を順次読み上げ | Ctrl + Shift + Zキー |
| カーソル位置の行のセル内容を先頭から読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + Yキー |
| カーソル位置の列のセル内容を先頭から読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + Zキー |

下記のショートカットキーは、表の行および列項目を読み上げるときに使用します。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 行列ヘッダ読み上げ設定の切り替え（なし/列のみ/行のみ/行列） | Ctrl + Shift + Gキー |
| ヘッダ位置登録 | Ctrl + Shift + F7キー |
| 登録した列の項目読み上げ | Ctrl + Shift + F8キー |
| 登録した行の項目読み上げ | Ctrl + Shift + F9キー |
| 行ヘッダへジャンプ | Ctrl + Shift + Cキー |
| 列ヘッダへジャンプ | Ctrl + Shift + Rキー |
| 登録したヘッダ位置の削除 | Ctrl + Shift + F11キー |

## 5．Adobe Reader用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Adobe Reader　DC操作用のショートカットキーです。

**ご注意：PDF の読み上げに際して、「テキストウィンドウの表示」という方式を採用しています。**

**このウィンドウは、PDF文章の中からテキスト部分を取り出して表示させたもので、このウィンドウ内では、自由にカーソルを移動させることができます。**

**これにより、PDFドキュメントをメモ帳やWordと同じようにカーソル操作で行単位、文字単位で細かく読み上げることができます。**

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| PDFテキスト情報ウィンドウを表示 | Ctrl + Alt + Vキー |
| PDFの総ページ数と現在表示しているページ数の読み上げ | Ctrl + Alt + Zキー |

## 6．Internet Explorer用ショートカットキーについて

下記のショートカットキーは、Internet Explorer 11 (以下、IEと表記)操作用のショートカットキーです。

**キー操作モードについて**

FocusTalkでは、Internet Explorer（以下：IE）の内容を細かく読み上げるために、「キー操作モード」という方式を採用しています。

これは、IEにあらかじめ割り当てられているショートカットキーと、FocusTalkがページ内の情報を読み上げるために必要とするショートカットキーが衝突してしまうため(例えば、読み上げ箇所の移動に必要な矢印キーは、IEでは、画面スクロールを行う設定がされています)、本来のIEのキー操作とFocusTalkがページ内を読み上げるキー操作を分けるためのモードとなります。

キー操作モードをオンにすることにより、IEのキー操作を FocusTalkのキー操作に切り替え、以下のショートカットキー操作でページ内の情報を読み上げます。

なお、キー操作モードの違和感解消のため、機能によっては自動的にオン・オフを切り替えています。

キー操作モードを常にOFFにしたい場合、FocusTalkのメイン画面「IE」タブ内にて設定が可能です。

**仮想カーソルについて**

仮想カーソルとは、ブラウザ内のテキストやリンク項目をキーボード操作により移動した際の、現在のキーボードフォーカスが当たっている箇所をさしています。

必ずしも、現在読み上げている場所とは限りませんので、ご注意ください。

### 6-1．IE全般で使用するショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| キー操作モードのオン・オフ切り替え | Ctrl + Zキー |

**以下のショートカットキーはキー操作モードがオンとなっている状態で操作が可能となります。**

**また、仮想カーソル位置を基準にした読み上げ操作になります。**

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 現在のページにある総項目数と現在の仮想カーソル位置の項目数読み上げ切り替え | Ctrl + Shift + Nキー |
| スキップ移動のとき、途中の項目の読む・読まないを切り替え | Ctrl + Alt + Sキー |
| ページの先頭から仮想カーソル位置までの読み上げ | Alt + 上矢印キー |
| 仮想カーソル位置からページの末尾までの読み上げ | Alt + 下矢印キー |
| 現在のページ内の構造をFocusTalkで再度解析後、先頭項目から順次読み上げ | Ctrl + Shift + Zキー |
| Flashの表示内容が更新されたと同時に、FocusTalkで読み上げる情報を自動的に更新するかのオン・オフ切り替え | Ctrl + Shift + Uキー |
| 仮想カーソル位置のテキストをクリップボードにコピー | Ctrl + Shift + Cキー |
| 現在の仮想カーソル位置を登録 | Ctrl + Alt + Iキー |
| 仮想カーソルを登録した場所へ移動 | Ctrl + Alt + Oキー |
| 登録した位置から現在の仮想カーソル位置までの範囲のテキストをクリップボードにコピー | Ctrl + Shift + Oキー |
| 仮想カーソル位置の文字を左に1文字ずつ読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + 左矢印キー |
| 仮想カーソル位置の文字を右に1文字ずつ読み上げ | Ctrl + Alt + Shift + 右矢印キー |

### 6-2．代替テキストのない画像や罫線を除く全項目に移動するためのショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ上の項目に移動 | 上矢印キー |
| 1つ下の項目に移動 | 下矢印キー |
| スキップ移動項目数だけ、上に移動 | 左矢印キー |
| スキップ移動項目数だけ、下に移動 | 右矢印キー |
| ページの先頭項目へ移動 | Homeキー |
| ページの末尾項目へ移動 | Endキー |
| 異なる属性項目へジャンプ（上） | Shift + Alt +上矢印キー |
| 異なる属性項目へジャンプ（下） | Shift + Alt +下矢印キー |
| 見出し項目へジャンプ（上） | PageUpキー |
| 見出し項目へジャンプ（下） | PageDownキー |
| テキスト項目へジャンプ（上） | Ctrl + Shift + 左矢印キー |
| テキスト項目へジャンプ（下） | Ctrl + Shift + 右矢印キー |
| テキスト移動読みで設定した文字数以上のテキストに前方移動 | Ctrl + Alt + F10キー |
| テキスト移動読みで設定した文字数以上のテキストに後方移動 | Ctrl + Alt + F8キー |
| 検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを前方移動 | Ctrl + Alt + F12キー |
| 上記で入力したキーワードで、前方方向に連続キーワード検索 | Ctrl + Alt + Shift + F12キー |
| 検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを後方移動 | Ctrl + Alt + F11キー |
| 上記で入力したキーワードで、後方方向に連続キーワード検索 | Ctrl + Alt + Shift + F11キー |

### 6-3．リンク項目を移動するためのショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ上のリンク項目に移動 | Shift + 上矢印キー |
| 1つ下のリンク項目に移動 | Shift + 下矢印キー |
| 複数個リンク項目上に移動 | Shift + 左矢印キー |
| 複数個リンク項目下に移動 | Shift + 右矢印キー |
| ページの先頭のリンク項目へ移動 | Shift + Homeキー |
| ページの末尾のリンク項目へ移動 | Shift + Endキー |
| リンクのURLスペル読み上げ | Ctrl + Uキー |
| 訪問済みのリンクか、未訪問のリンクかの読み上げ | Ctrl + Shift + Hキー |

### 6-4．コントロール項目(テキストボックス、コンボボックス、リストボックス、チェックボックス、ボタン、ラジオボタン、画像、水平線)を移動するためのショートカットキー

**※テキストボックスをマウスでクリックした場合の動作について**

キー操作モードがオンのときに、検索エンジンで表示されているテキストボックスをマウスでクリックした場合、キー操作モードが一時的にオフになり、テキストボックス内に直接入力することができます。その状態からTabキー等で別の項目に移動したときに、再びキー操作モードがオンになります。

(マウス操作を中心に使用されている方でも、普段の操作と違和感なく操作ができるようにしています。)

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ上のコントロール項目に移動 | Ctrl + 上矢印キー |
| 1つ下のコントロール項目に移動 | Ctrl + 下矢印キー |
| スキップ移動項目数、コントロール項目上に移動 | Ctrl + 左矢印キー |
| スキップ移動項目数、コントロール項目下に移動 | Ctrl + 右矢印キー |
| ページの先頭のコントロール項目へ移動 | Ctrl + Homeキー |
| ページの末尾のコントロール項目へ移動 | Ctrl + Endキー |

### 6-5．フレーム間を移動するためのショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ前のフレームの先頭に移動 | Ctrl + Shift + 上矢印キー |
| 1つ次のフレームの先頭に移動 | Ctrl + Shift + 下矢印キー |

### 6-6．テーブル間を移動するためのショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ前のテーブルへ移動 | Shift + Alt + Tキー |
| 1つ次のテーブルへ移動 | Alt + Tキー |

### 6-7．テーブル内を移動するためのショートカットキー

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| テーブル読み上げの切り替え | Ctrl + Tキー |

テーブル内に仮想カーソルがある状態で、Ctrl + Tキーを押して、テーブル読み上げ機能が有効になっている場合、下記の操作が可能になります。

| **操作** | **ショートカットキー** |
| --- | --- |
| 1つ上のセルへ移動 | 上矢印キー |
| 1つ下のセルへ移動 | 下矢印キー |
| 1つ左のセルへ移動 | 左矢印キー |
| 1つ右のセルへ移動 | 右矢印キー |
| 行の先頭のセルへ移動 | Homeキー |
| 行の末尾のセルへ移動 | Endキー |
| 先頭行のセルへ移動 | Ctrl + 上矢印キー |
| 末尾行のセルへ移動 | Ctrl + 下矢印キー |
| 1番左上のセルへ移動 | Ctrl + Homeキー |
| 1番右下のセルへ移動 | Ctrl + Endキー |
| セル内容を読み上げ | Ctrl + Kキー |
| セル位置を登録 | Ctrl + Alt + Iキー |
| (Ctrl + Alt + Iキーで)登録したセル位置へ移動 | Ctrl + Alt + Oキー |
| テーブル全体の内容読み上げ | Ctrl + Shift + Aキー |
| セル内容をクリップボードにコピー | Ctrl + Shift + Cキー |

第9章　よくある質問と回答集

## 1．はじめに

ここでは、お客様より寄せられると想定される質問と、それに対する回答を記載しています。操作方法等でお困りの際にご一読ください。

また、FocusTalkホームページ上(<http://www.skyfish.co.jp/focustalk/faq/faq.php>)では、最新の質問と回答を紹介していますので、併せてご確認ください。

## 2．よくある質問と回答集

**○FocusTalk全般に関する質問と回答**

**質問1．FocusTalk　V4が対応しているWindowsのバージョンはいくつですか。**

**回答1．**

日本語版Windows 10、Windows 8.1に対応しています。(※Windows® Vista™/ Windows® 7/ Windows® 8については未サポートとさせていただきます。)

**質問2．FocusTalkのDVDがパソコン上で認識されません。**

**回答2．**

自動起動の設定が無効になっている可能性があります。

コンピューターからDVDドライブを選択し、FocusTalkのDVDが認識されているかご確認ください。

常駐ソフトが動作している場合、一旦終了してDVDを入れ直して認識するか、ご確認ください。

また、FocusTalk以外のDVDを入れてみて認識するか、ご確認ください。

もし、認識されない場合、DVDドライブの読み取り部分の不具合(汚れ等含む)の可能性が考えられます。

**質問3．インストールが途中で止まってしまいます。**

**回答3．**

まず、パソコン、OSがFocusTalkの動作環境を満たしているか、ご確認ください。

動作環境に問題がない場合、他のアプリケーションをすべて終了させて、再度FocusTalkのインストールを行なってください。

**質問4．音声が二重に再生されます。**

**回答4．**

FocusTalk以外の音声を出力するアプリケーションが、動作している可能性が考えられます。

Alt + Tabキー等で、他の動作アプリケーションをご確認ください。

また、一部のWebサイトでは、ページの内容を音声で読み上げるものがあります。

その場合も、音声が二重に再生される場合がありますので、どちらか一方を停止させてください。

**質問5．FocusTalkの音声が出ません。(出なくなりました)**

**回答5．**

原因1．Windowsのボリュームが小さいか、ミュートになっている可能性があります。

対処1．ヘッドホンやイヤホン、スピーカーの接続状況や、電源が入っているか等をご確認ください。

対処2．パソコンの種類によっては、本体やキーボード周辺にボリュームコントロールが付いている場合や、あるいはキーボード上のファンクションキーで調整できることがありますので、併せてご確認ください。

原因2．FocusTalkの音声が停止状態になっている可能性があります。

対処1．Shift + Pauseキーまたは、Shift + Alt + Pauseキーで音声出力が一時中断されていないかご確認ください。

対処2．Ctrl + Alt + 上矢印キーを数回押して音量を上げることを試し、音声が出るかご確認ください。

対処3．FocusTalkの設定を初期化してみてください。設定の初期化はCtrl + Alt + F7キーです。

**質問6．FocusTalkの設定を初期化するにはどうすればいいですか。**

**回答6．**

FocusTalkが起動している状態で、Ctrl + Alt + F7キーを押してください。設定の初期化確認のダイアログが表示されます。そこで「はい」のボタンを選択すると、インストールした状態の初期値に戻ります。

**質問7．読み上げるアプリケーションは、FocusTalkホームページに掲載されているものだけですか。また、どういうアプリケーションを読み上げますか。**

**回答7．**

FocusTalkのホームページ上に掲載されていないアプリケーションでも、標準的なWindowsの部品(例：ボタン、リストボックス、チェックボックスなど)で構成されていると、読み上げる場合があります。

**質問8．FocusTalkで設定した内容の保存や、読み込みは可能ですか。**

**回答8．**

FocusTalkの設定画面から行なうことができます。その詳細な手順につきましては、「3.FocusTalkの基本設定について」の「●設定の読み込み」および「●設定の保存」をご参照下さい。

**質問9．キーボード入力の情報を読み上げません。**

**回答9．**

FocusTalkの読み上げ全般設定内のキーボード操作の機能が有効になっているか、ご確認ください。(チェックをオンにしてください)

**質問10．オンライン（インターネット経由）でのユーザー認証を行おうとしましたが、認証できません。**

**回答10．**

一部のアンチウイルスソフトやパケット監視ソフト、ソフトウェアファイアウォールなど、セキュリティ関連ソフトにより認証サーバへのアクセスが遮断されている可能性があります。また、お使いのパソコンが接続されているネットワーク環境によっても、外部とのアクセスが遮断されてしまう場合もございます。

その場合にはお手数ではございますが、オフライン認証をお願いいたします。

詳細については、「**第3章　インストール・起動・終了方法について**」の「**手順6.ユーザー認証について**」をご覧ください。

**質問11．FocusTalkの設定画面から設定ができない、または、設定しても次の起動時に設定が以前の状態に戻ってしまいます。**

**回答11．**

FocusTalk体験版、及び、製品版で30日間ユーザー認証を行われていない環境では、一部機能が制限されますため、そのような現象が発生します。

FocusTalk製品版をお使いになられている方は、FocusTalkインストール後、ユーザー認証を行う事により、機能制限が解除されます。

[問題が解決しない場合には、お手数でございますがサポートまでお問い合わせ下さい。](https://www.skyfish.co.jp/focustalk/order/inquiry.html)

**サポート時間：平日10：00～12：00、14：00～16：00**

**FocusTalkサポート窓口：050-3535-0939**

**FocusTalkサポートメールアドレス：****ft-sales@skyfish.co.jp**

※サポート時間外のお問い合わせは、上記メールアドレスまでご連絡下さい。

サポート担当者が内容を確認し、回答します。

**質問12．他のスクリーンリーダーと併用できますか。**

**回答12．**

お使いのパソコンに複数の種類のスクリーンリーダーをインストールすることは可能です。
ただし、同時に起動しますと、ショートカットキーの競合などにより、予期せぬ動作をする場合がございます。その場合、お使いになるスクリーンリーダーではない方のスクリーンリーダーを一旦切っていただき、ご使用になりたいスクリーンリーダーをお使いください。
尚、FocusTalkの起動・終了はショートカットキーで簡単に行うことができます。
・起動：Ctrl + Shift + F6
・終了：Ctrl + Alt + F6。

**質問13．PDFの読み上げを行う際、何か設定は必要ですか。**

**回答13．**

設定が必要になります。
以下の設定はPDF（Adobe　AcrobatもしくはAdobe　Reader）を正しく読み上げるために必要なものとなっていますので、是非ご確認下さい。

以下の手順は、Adobe　Readerのバージョンが9以降の場合の手順になります。

手順1．Adobe　AcrobatもしくはAdobe　Readerを起動する。
手順2．Altキーを押し、Adobe　AcrobatもしくはAdobe　Readerのメニューにフォーカスを移動する。
手順3．左右矢印キーを押して、「文書(D)」メニューに移動し、下矢印キーを数回押して、「アクセシビリティ設定アシスタント(T)」のところでEnterキーを押す。
手順4．「アクセシビリティ設定アシスタント」のダイアログが開くので、上下矢印キーで「スクリーンリーダーのオプションを設定(R)」もしくは「すべてのアクセシビリティオプションを設定(A)」にチェックを入れる。
手順5．Tabキーを数回押し、「次へ(N)」のボタンへ移動、Enterキーを押す。
手順6．画面が切り替わるので、再びNキーを押す。
手順7．もう一度Nキーを押し、画面を切り替える。
手順8．「アクセシビリティ設定アシスタント(画面4/5)」の画面が表示されるので、上下矢印キーで「現在表示されているページのみを読み上げる(O)」にチェックを入れる。
手順9．Ｔａｂキーを数回押し、「次へ(Ｎ)］のボタンへ移動、Enterキーを押す。
手順10．最後にEnterキーを押し、設定画面を終了する。
以上の設定を行うことで、より快適にPDFの読み上げを行うことができます。

**質問16．FocusTalkの読み上げを一時的に停止するにはどうすればいいですか。**

**回答16．**

ショートカットキ**ー**［読み上げの一時停止・再開］：Shift + Pauseキー
上記ショートカットキーにより、FocusTalkの読み上げを一時的に停止することができます。再度Shift + Pauseキーを押しますと、読み上げが再開されます。なお、Pauseキーの位置は、キーボードにより異なりますので、ご使用になられているパソコンの説明書等をご確認ください。

また、読み上げ途中で音声が出るのを中断させたい場合は、Ctrlキーを押してください。

読み上げが途中で止まります。

**○インターネット読み上げ(Internet Explorer)に関する質問と回答**

**質問17．Internet Explorerを起動すると、キー操作が変わりました。どうしてでしょうか。**

**回答17．**

これは、ホームページ内を細かく読み上げるために、Internet Explorerの一部のキー操作を一時的にFocusTalkに割り当てているためです。この状態のことを「キー操作モード」と呼んでいます。詳細な設定につきましては、「**第7章　各種アプリ設定メニューの詳細について**」の「**2．Internet Explorer**」をご確認ください。

**質問18．インターネットを閲覧しているときに、画像情報を読み上げません。**

**回答18．**

画像情報に画像の意味を説明するための情報(代替テキスト)がない場合、読み上げることができません。

**質問19．キーワード検索とは、どんな機能ですか。**

**回答19．**

この機能は、Internet Explorerに搭載されている検索機能を拡張したものです。
読み上げたい内容を検索した後、その部分から読み上げる機能です。

検索した内容が見つかると同時にその位置にカーソルが移動しますので、読み上げたい内容を検索しそこから読み上げるのに大変便利です。

キーワード検索機能は以下のショートカットキーを使用することでお使いいただけます。

・検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを前方移動：Ctrl + Alt + F12キー

・先に入力したキーワードで、前方方向に連続キーワード検索：Ctrl + Alt + Shift + F12キー

・検索キーワードに検索文字入力後、該当するキーワードがあった場合、その位置に仮想カーソルを後方移動：Ctrl + Alt + F11キー

・先に入力したキーワードで、後方方向に連続キーワード検索：Ctrl + Alt + Shift + F11キー

**○その他の質問と回答**

**質問20．FocusTalkを海外で使用することはできますか？**

**回答20．**

FocusTalkは日本国内でのみ使用することができます。（すべてのバージョンにおいて）

国外で使用する場合、サポート対象外となりますので、自己責任においてご使用ください。

第10章　謝辞、著作権・商標について

## 1．謝辞

●詳細読み辞書(JIS第一水準、第二水準)について

FocusTalkに搭載されている詳細読み辞書(JIS第一水準、第二水準)は、数藤康雄様、寺島彰先生（浦和大学）が作成された辞書が元になっています。

●詳細読み辞書(IBM拡張文字)について

FocusTalkに搭載されている詳細読み辞書(IBM拡張文字)は、藤沼輝好様（統合システム研究所）が作成された辞書が元になっています。

●詳細読み辞書（田町読み）について

田町読みとは、国立特殊教育総合研究所「理解しやすい漢字詳細読み」研究グループで開発された辞書のことです。子供から高齢者までの幅広い年齢層において直感的に理解しやすい文言になるように作成された読み辞書で、入力した文字を漢字に変換する際、その漢字が何なのかを確認しやすい読み上げを行うことができます。

●音訓読み辞書について

FocusTalkに搭載されている音訓読み辞書は、長谷川貞夫様(日本点字図書館評議員)が作成された辞書が元になっています。

## 2．著作権・商標

※Microsoft®、Windows®、Windows® 10、Windows® 8.1Windows® Live™、Internet Explorer®、Windows Media®、並びにOffice®製品（Word®、Excel®、PowerPoint®）は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※Adobe Acrobat、およびAdobe Reader、Adobe Flash Playerは、アドビシステムズ社の米国ならびに他の国における登録商標または商標です。

※FocusTalkの音声読み上げ機能には、株式会社日立ケーイーシステムズの音声合成ライブラリを使用しています。

※Skyfish、FocusTalk、JukeDoXは株式会社スカイフィッシュの商標および登録商標です。

※製品名および会社名は、各社の商標および登録商標です。

本マニュアルならびに各種マニュアルの無断複製を禁止いたします。

本マニュアルならびに各種マニュアルに記載されている製品名は、各社の商標および登録商標です。

FocusTalk V4　オンストールマニュアル

2015年11月 初版

発行　株式会社スカイフィッシュ